OKI

MLETB09
MLETB09 A
イーサネットボード

ユーザーズマニュアル

安全にお使いいただくために

本製品を正しく安全にお使いいただくために、ご使用前に必ずユーザーズマニュアル（本書）をお読みください。

安全上の注意表示

⚠警告　この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性があることを示しています。

⚠注意　この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性があることを示しています。

一般的な注意

	プリンタ内部の安全スイッチに触れないでください。 高電圧が発生し感電のおそれがあります。また、ギヤが回転するのでケガのおそれがあります。
	プリンタの近くで強燃性スプレーを使用しないでください。プリンタ内部には高温になる部分があるので火災のおそれがあります。
	カバーが異常に熱くなったり、煙が出たり、変なにおいがしたり、異常な音がする場合は、電源プラグをコンセントから抜いてサービスセンタへ連絡してください。 火災のおそれがあります。
	水などの液体がプリンタ内部に入った場合は、電源プラグをコンセントから抜いてサービスセンタへ連絡してください。 火災のおそれがあります。
	クリップなどの異物をプリンタ内部に落とした場合は、電源プラグをコンセントから抜いて異物を取り出してください。 感電、火災、ケガのおそれがあります。

⚠警告	
	ユーザーズマニュアルに指示している以外の操作や分解は行わないでください。 感電、火災、ケガのおそれがあります。
	プリンタを落下させたり、カバーを傷つけた場合は、電源プラグをコンセントから抜いてサービスセンタへ連絡してください。 感電、火災、ケガのおそれがあります。
	電源コード、プリンタ、アース線は、ユーザーズマニュアルで指示されている以外の接続は行わないでください。 火災のおそれがあります。
	通気口に物を差し込まないでください。 感電、火災、ケガのおそれがあります。
	水の入ったコップなどをプリンタの上にのせないでください。 感電、火災のおそれがあります。
	プリンタのカバーを開けたときは、定着器ユニットに触れないでください。 やけどのおそれがあります。

⚠注意	
	電源投入時および印刷中は、用紙の排出部に近づかないでください。 ケガをするおそれがあります。

本書の見方

表　記

本書では、次のように表記している場合があります。

- Microsoft® Windows® XP operating system 日本語版 → WindowsXP
- Microsoft® Windows® Millennium Edition 日本語版 → WindowsMe
- Microsoft® Windows® 98 operating system 日本語版 → Windows98
- Microsoft® Windows® 95 operating system 日本語版 → Windows95
- Microsoft® Windows® 2000 operating system 日本語版 → Windows2000
- Microsoft® Windows NT® operating system Version4.0 日本語版 → WindowsNT4.0
- WindowsXP、WindowsMe、Windows98、Windows95、Windows2000、WindowsNT4.0 の総称→ Windows

マーク

プリンタを正しく動作させるための注意や制限です。
誤った操作をしないため、必ずお読みください。

プリンタを使用するときに知っておくと便利なことや参考になることです。お読みになることをお勧めします。

諸注意

電波障害防止について

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスA情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

商標について

MICROLINE は株式会社沖データの商標です。
UNIXはX/Openカンパニーリミテッドがライセンスしている米国及び、その他の国における登録商標です。
Ethernet は、米国ゼロックス社の登録商標です。
Windows、WindowsNT は、米国マイクロソフトコーポレーションの米国及び、その他の国における登録商標または商標、商品名です。
Sun OS、Sun Solaris は、米国サン・マイクロシステムズ社の商標です。
NetWare は、米国 Novell,Inc. の登録商標です。
IBM、AIX は米国 IBM 社の商標です。
HP-UX は米国ヒューレットパッカード社の商標です。
MacOS、AppleTalk、EtherTalk、は米国 Apple Computer,Inc. の米国及び、その他の国における登録商標または商標、商品名です。
PostScript は AdobeSystems Incorporated の各国での登録商標または商標です。
その他の各社名、製品名は各社の登録商標または商標です。

本書について

1．本書の内容の一部または全部を無断で転載することは固くお断りします。
2．本書の内容に関して、将来予告なしに変更することがあります。
3．本書の内容については万全を期して作成致しましたが、万一ご不審な点や誤り、記載もれなど、お気付きの点がありましたらお買い求めの販売店にご連絡ください。
4．本書の内容に関して、運用上の影響につきましては3項にかかわらず責任を負いかねますのでご了承ください。

マニュアルの版権について

使用許諾契約

イーサネットボードに付属のソフトウェアおよびドキュメンテーションは、株式会社沖データが提供するものです。本ソフトウェアを使用することにより、お客様は、株式会社沖データ（以下、沖データという）との間で契約が成立し、本契約条項の拘束を受けることに同意したものと見なされます。

１．お客様は、本ソフトウェアに対応するイーサネットボードを所有している場合のみ、ソフトウェアを使用することが出来ます。

２．本ソフトウェアおよびドキュメンテーション、そしてそれらのコピーの著作権、版権、所有権は、沖データまたは沖データに使用許諾を与えたライセンサーにあります。本ソフトウェアあるいはドキュメンテーションの一部または全部を複製したり、他人に複製を作らせたり、複製を許可したり、商行為をすることはできません。お客様は本ソフトウェアを、修正、改変、翻訳、リバースエンジニアリング、逆コンパイル、逆アセンブルしないことに同意します。また、本契約で認められた項目を除き、本ソフトウェアとドキュメンテーションに関するいかなる知的所有権の権利も付与しません。

３．お客様は以下の条件すべてを満足することにより本ソフトウェアを第三者に譲渡できます。
（１）本ソフトウェアに対応する沖データイーサネットボードと一緒に譲渡する。
（２）本ソフトウェアおよびドキュメンテーションのコピー全てを当該第三者に譲渡し、または譲渡しなかったコピーを全て破棄する。
（３）当該第三者が事前に本契約の拘束に同意する。
また、本ソフトウェアを賃貸、貸与、リース、配布、転載、移転することはできません。お客様は、本ソフトウェアを日本国外に出荷、移転、輸出、再輸出できないこと、違法な方法で使用しないことに同意します。

４．お客様が本契約の条件に違反した場合には、沖データは、お客様の本ソフトウェアおよびドキュメンテーションの使用中止およびライセンス契約の解除を行うことがあります。この様な解除が行われた場合には、お客様は本ソフトウェアおよびドキュメンテーションのオリジナルおよび全てのコピーを破棄し、本ソフトウェアおよびドキュメンテーションの使用を中止するものとします。

５．沖データ及び沖データのライセンサーは、本ソフトウェアまたはドキュメンテーションに関して、以下のことを含む一切の保証をしません。
（１）本ソフトウェアを使用する事によってお客様の要望する性能または結果が得られること。
（２）本ソフトウェアあるいはドキュメンテーションに瑕疵がないこと。
（３）第三者の権利を侵害していないこと。
（４）特定の目的に適合していること。
またソフトウェアまたはドキュメンテーションは、予告なく改良、変更することがあります。

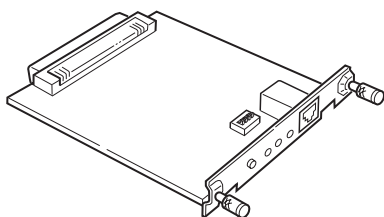
６．沖データ及び沖データのライセンサーは、本ソフトウェアまたはドキュメンテーションによって生じる、いかなる直接的、間接的、派生的な損害、損失に対しても、一切責任を負わないものとします。

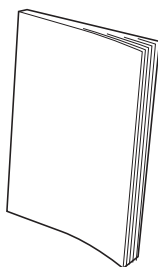
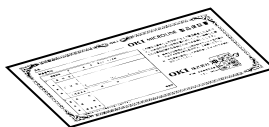
目　次

1 イーサネットボードを取り付けます

製品の確認

製品がそろっていることを確認してください。

□イーサネットボード＊

□ネットワークソフトウェアCD-ROM

□イーサネットボード
　ユーザーズマニュアル（本書）

□保証書＊

＊ ネットワーク標準装備プリンタは、プリンタに組み込まれています。

 ・ツイストペアケーブルは添付されていません。別途用意してください。

イーサネットボードの特長

マルチプロトコルに対応

EtherTalk、TCP/IP、IPX/SPX、NetBEUI の 4 つプロトコルに対応しています。

専用ネットワークユーティリティを付属

ネットワーク上の WindowsXP/Me/98/95/2000/NT4.0 および Macintosh からイーサネットボードの設定を行うことができます。

Webブラウザで管理できます

Microsoft Internet Explorer や Netscape Navigator などの Web ブラウザを利用して、イーサネットボードの設定やプリンタのステータスが表示できます。

SNMPに対応

SNMP エージェントを実装しています。

100BASE-TX/10BASE-Tに対応

100BASE-TX と 10BASE-T を自動的に切り替えます。

MLETB09/MLETB09Aイーサネットボードは汎用のイーサネットボードです。
取り付けるプリンタによって一部の機能が使用できないことがあります。

各部の名前

STATUSランプ（橙）
データ受信時に点滅します。イーサネットボードの異常を検出した場合は次のいずれかの動作をします。

- 一定間隔で点滅
- 常に点灯
- 常に消灯

LINK 10Mランプ（緑）
10BASE-Tで接続すると点灯します。

LINK 100Mランプ（緑）
100BASE-TXで接続すると点灯します。

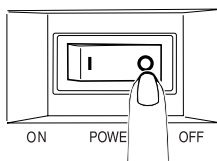
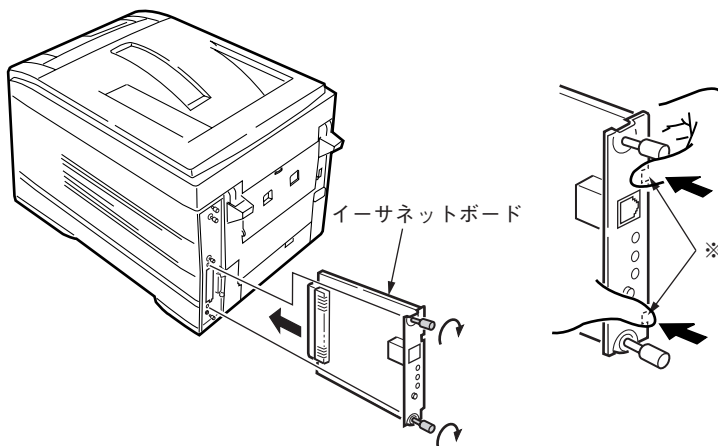
主な仕様

項　目	内　容
CPU	FALCON
メモリ	FlashROM：2Mbyte RAM：4Mbyte
ネットワーク インタフェース	100BASE-TX/10BASE-T (自動切替、同時使用不可)
ネットワークプロトコル	TCP/IP 仕様 　ネットワーク層　ARP、RARP、IP、ICMP 　セッション層　TCP、UDP 　アプリケーション層　LPR、FTP、TELNET、HTTP、IPP、BOOTP、DHCP、SNMP、DNS、SMTP NetWare 仕様 　リモートプリンタモード(最大８プリントサーバ) 　プリントサーバモード 　　(最大８ファイルサーバ・32 キュー) 　暗号化パスワードに対応(プリントサーバモード時) 　NetWare5J/4.1J(NDS、バインダリ) 　SNMP EtherTalk 仕様 　ELAP、AARP、DDP、AEP、NBP、ZIP、RTMP、ATP、PAP NetBEUI 仕様 　SMB、NetBIOS
機　能	自己診断テスト印刷機能 バナー印字のサポート 日本語 PostScript に対応した漢字フィルタ機能 WebPage による状態表示、及び設定機能 E-Mail によるプリンタ状態通知機能

注 EtherTalkプロトコルはPostScriptエミュレーションを持たないプリンタでは使用できません。

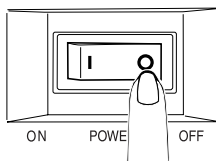
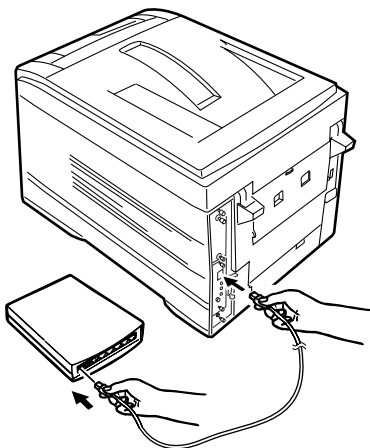
イーサネットボードを取り付けます

注 ・イーサネットボードがオプションの装置のみ取り付けてください。
詳しくは各プリンタのユーザーズマニュアルをご覧ください。

1 プリンタの電源がOFFになっていることを確認します。

2 イーサネットボードを取り付けます。

注 ・ボードの金属板は曲り易いため、押し込む際には※印の部分を押して差し込んでください。

ネットワークに接続します

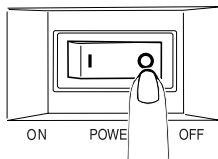
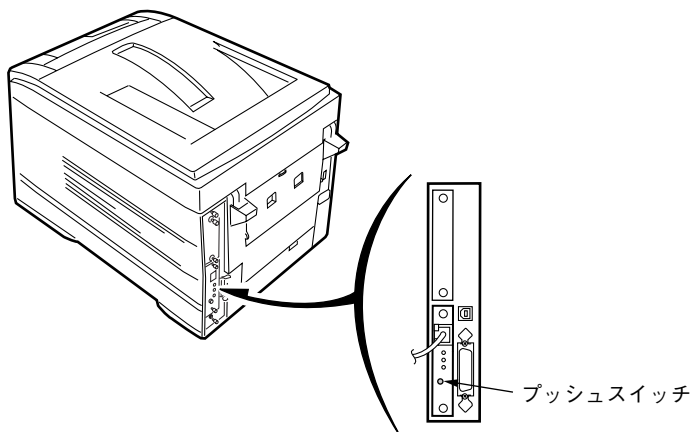
・ツイストペアケーブル(カテゴリ5、ストレート)は添付されていません。
別途用意してください。

1 プリンタの電源がOFFになっていることを確認します。

2 ツイストペアケーブルを接続します。

❶ ツイストペアケーブルをプリンタのネットワークインタフェースコネクタに差し込みます。

❷ ツイストペアケーブルをハブに差し込みます。

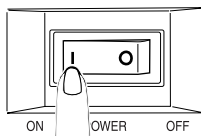
イーサネットボードを初期化します

注 ・初期化すると全ての設定が初期値になります。

1 プリンタの電源がOFFになっていることを確認します。

2 プッシュスイッチを押したまま、プリンタの電源をONにし、3秒間以上押し続けてから、指を離します。

イーサネットボードが初期化され、自己診断テストが印刷されます。

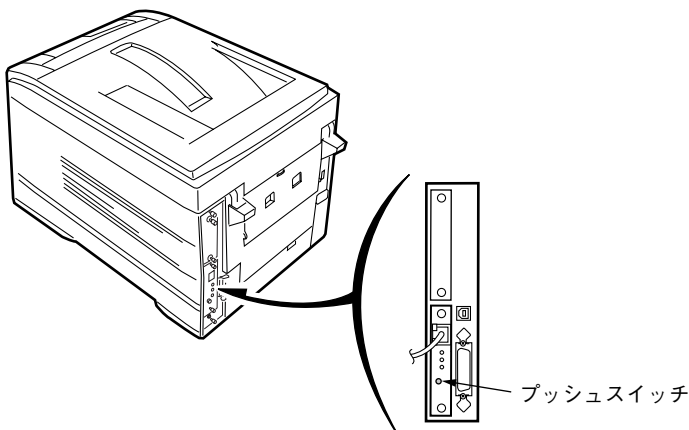
自己診断テストをします

注 ・プリンタにより表示される内容が異なります。

1 プリンタの電源を ON にします。

注 ・イーサネットボードをはじめて取り付けたときに一度だけプリンタの初期化がおこなわれる場合があります。これは問題ない動作です。

2 プッシュスイッチを 3 秒間以上押し続けてから、指を離します。

自己診断テストが印刷されます。

（例）

イーサネットアドレス

```
EthernetBoard MELTB09A Version 1.1.0

*** Diagnostic report ***
   ROM Check : Ok  stat: 17F0 FFFF 0000 0000
   RAM Check : Ok  stat: 0000 0000 0000 0000
   NIC Check : Ok  addr: 00:80:92:00:13:46   10BASE-T(TPI)
EEPROM Check : Ok  stat: 95E9 95E9 0000 0000

      DIPSW1 : OFF(ON:Test use only)
      DIPSW2 : OFF(ON:Initialize configuration)
      DIPSW3 : OFF(ON:Reserved)
      DIPSW4 : OFF(ON:Diagnostic print)

*** Configuration report ***
TCP/IP protocol             :ENABLE
IP address                  :0.0.0.0
Subnet mask                 :0.0.0.0
Gateway address             :0.0.0.0
RARP protocol               :DISABLE
DHCP/BOOTP protocol         :ENABLE
DNS Server(Pri.)            :0.0.0.0
DNS Server(Sec.)            :0.0.0.0
root password               :""
Authentic community         :"******"
Trap community              :"public"
Trap address                :0.0.0.0
SysContact                  :""
SysName                     :""
SysLocation                 :""
DefaultTTL                  :255
EnableAuthenTrap            :2
NetWare protocol            :ENABLE
Packet type                 :AUTO
NetWare mode                :PSERVER
FSERVER name 1              :""
FSERVER name 2              :""
FSERVER name 3              :""
FSERVER name 4              :""
FSERVER name 5              :""
FSERVER name 6              :""
FSERVER name 7              :""
FSERVER name 8              :""
Machine name                :"ML001346"
Password                    :""
Job polling interval        :4
Bindery mode                :ENABLE
NDS tree                    :""
NDS context                 :""
PSERVER name 1              :""
PSERVER name 2              :""
PSERVER name 3              :""
PSERVER name 4              :""
PSERVER name 5              :""
```

```
PSERVER name 6              :""
PSERVER name 7              :""
PSERVER name 8              :""
Job timeout                 :10
EtherTalk protocol          :ENABLE
Zone name                   :"*"
NetBEUI protocol            :ENABLE
Computer name               :"ML001346"
Workgroup name              :"PrintServer"
Comment                     :"EthernetBoard MLETB09A"
NetWare port name           :"ML001346-prn1"
EtherTalk port name         :"MICROLINE 3010c"
BOJ string                  :""
EOJ string                  :""
BOJ string(KANJI)           :""
EOJ string(KANJI)           :"\x04"
Printer type                :PS
TAB size   (char.)          :8
Page width (char.)          :78
Page length(line)           :66
lpr/ftp banner              :NO
Prn-Trap Community          :"public"
TCP#1 Trap enable           :DISABLE
On-line trap                :DISABLE
Off-line trap               :DISABLE
Paper Out trap              :DISABLE
Paper Jam trap              :DISABLE
Cover Open trap             :DISABLE
Printer Error trap          :DISABLE
TCP#1 Trap address          :0.0.0.0
TCP#2 Trap enable           :DISABLE
On-line trap                :DISABLE
Off-line trap               :DISABLE
Paper Out trap              :DISABLE
Paper Jam trap              :DISABLE
Cover Open trap             :DISABLE
Printer Error trap          :DISABLE
TCP#2 Trap address          :0.0.0.0
TCP#3 Trap enable           :DISABLE
On-line trap                :DISABLE
Off-line trap               :DISABLE
Paper Out trap              :DISABLE
Paper Jam trap              :DISABLE
Cover Open trap             :DISABLE
Printer Error trap          :DISABLE
TCP#3 Trap address          :0.0.0.0
TCP#4 Trap enable           :DISABLE
On-line trap                :DISABLE
Off-line trap               :DISABLE
Paper Out trap              :DISABLE
Paper Jam trap              :DISABLE
Cover Open trap             :DISABLE
Printer Error trap          :DISABLE
TCP#4 Trap address          :0.0.0.0
TCP#5 Trap enable           :DISABLE
```

```
On-line trap                 :DISABLE
Off-line trap                :DISABLE
Paper Out trap               :DISABLE
Paper Jam trap               :DISABLE
Cover Open trap              :DISABLE
Printer Error trap           :DISABLE
TCP#5 Trap address           :0.0.0.0
IPX Trap enable              :DISABLE
On-line trap                 :DISABLE
Off-line trap                :DISABLE
Paper Out trap               :DISABLE
Paper Jam trap               :DISABLE
Cover Open trap              :DISABLE
Printer Error trap           :DISABLE
IPX Trap address             :"000000000000"
IPX Trap net                 :"00000000"
SMTP Transmit                :DISABLE
SMTP server name             :""
SMTP port number             :25
E-Mail address               :""
Reply-To address             :""
Signature line 1             :""
Signature line 2             :""
Signature line 3             :""
Signature line 4             :""
To Address 1                 :""
Re-send Interval             :DISABLE
Off Line                     :DISABLE
Consumable Message           :DISABLE
Toner Low/Out                :DISABLE
Paper Low/Out                :DISABLE
Paper Jam                    :DISABLE
Cover Open                   :DISABLE
Stacker Error                :DISABLE
Mass Storage Error           :DISABLE
Recoverable Error            :DISABLE
Service Call Req.            :DISABLE
To Address 2                 :""
Re-send Interval             :DISABLE
Off Line                     :DISABLE
Consumable Message           :DISABLE
Toner Low/Out                :DISABLE
Paper Low/Out                :DISABLE
Paper Jam                    :DISABLE
Cover Open                   :DISABLE
Stacker Error                :DISABLE
Mass Storage Error           :DISABLE
Recoverable Error            :DISABLE
Service Call Req.            :DISABLE
To Aaddress 3                :""
Re-send Interval             :DISABLE
Off Line                     :DISABLE
Consumable Message           :DISABLE
Toner Low/Out                :DISABLE
Paper Low/Out                :DISABLE
```

```
Paper Jam                    :DISABLE
Cover Open                   :DISABLE
Stacker Error                :DISABLE
Mass Storage Error           :DISABLE
Recoverable Error            :DISABLE
Service Call Req.            :DISABLE
To Address 4                 :""
Re-send Interval             :DISABLE
Off Line                     :DISABLE
Consumable Message           :DISABLE
Toner Low/Out                :DISABLE
Paper Low/Out                :DISABLE
Paper Jam                    :DISABLE
Cover Open                   :DISABLE
Stacker Error                :DISABLE
Mass Storage Error           :DISABLE
Recoverable Error            :DISABLE
Service Call Req.            :DISABLE
To Address 5                 :""
Re-send Interval             :DISABLE
Off Line                     :DISABLE
Consumable Message           :DISABLE
Toner Low/Out                :DISABLE
Paper Low/Out                :DISABLE
Paper Jam                    :DISABLE
Cover Open                   :DISABLE
Stacker Error                :DISABLE
Mass Storage Error           :DISABLE
Recoverable Error            :DISABLE
Service Call Req.            :DISABLE
```

2 WindowsXPをセットアップします

セットアップについて

1　利用するプロトコルを決めます

WindowsXP では、LPR(TCP/IP)プロトコル、IPP(TCP/IP)プロトコルを利用する場合の二つのセットアップ手順があります。まず、どれを利用するか決めます。

プロトコル	
LPR(TCP/IP)プロトコル	LPR(TCP/IP)プロトコルは、プリンタやパソコンにIPアドレス等を設定して利用します。通常はこちらを使用します。
IPP(TCP/IP)プロトコル	IPP(TCP/IP)プロトコルは、Internet経由で遠隔地にあるプリンタに直接印刷する場合に利用します。ファイアウォールを越えた印刷が可能です。

2　セットアップの流れ

LPR(TCP/IP)プロトコル

Windows にIP アドレス等を設定します。

↓

プリンタのイーサネットボードにIP アドレス等を設定します。

↓

プリンタドライバを「通常使うローカルプリンタ(LPT1 :)」としてセットアップします。

↓

ネットワークプリンタを作成します。

IPP(TCP/IP)プロトコル

Windows にIP アドレス等を設定します。

↓

プリンタのイーサネットボードにIP アドレス等を設定します。

↓

プリンタドライバを「ネットワークプリンタ」としてセットアップします。

↓

ネットワークプリンタが作成されます。

LPR（TCP/IP）プロトコルを利用します

- IP アドレスの入力を間違えると、ネットワークがダウンするなど重大な障害が発生します。ネットワーク管理者と相談の上IP アドレスを決定してください。
- プリンタ1台とコンピュータ1台を接続するような小規模ネットワークは、43 ページをご覧ください。
- ネットワークの管理者の権限が必要です。

WindowsXP を設定します

以下の説明は、WindowsXP Home Edition を例にしています。

❶ ［スタート］-［コントロールパネル］を選択し、［ネットワークとインターネット接続］をクリックします。

❷ ［コントロールパネルを選んで実行します］の［ネットワーク接続］をクリックします。

❸ ［ローカルエリア接続］をダブルクリックし、［プロパティ］をクリックします。

❹ ［インターネットプロトコル（TCP/IP)］を選択し、［プロパティ］をクリックします。

❺ IPアドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイ、DNS サーバを入力し、［OK］をクリックします。

メモ **デフォルトゲートウェイや DNS サーバを使用しない場合は、入力しません。**

❻ ［ローカルエリア接続］を閉じます。

イーサネットボードを設定します

Standard Setup（AdminManager）を使用します。

❶ プリンタの電源が ON になっていることを確認します。

❷ イーサネットボード付属の「ネットワークソフトウェア CD-ROM」をセットします。

Setup Utility が自動的に起動します。

注 **自動的に起動しない場合は、CD-ROM の［Windows］フォルダの中の［Autorun.exe］をダブルクリックしてください。**

❸ 日本語をクリックします。

❹［OKI Device Standard Setup］をクリックします。

❺［インストールせずに、直接CD-ROMから起動する］を選択し、［次へ］をクリックします。

❻ 使用許諾契約に同意する場合は［はい］をクリックします。

AdminManager が起動します。

❼ 一覧より、イーサネットアドレスを参照して、設定を行うイーサネットボードを選択します。

注
- **イーサネットアドレスは、自己診断テストに表示されています。**
- **初期設定では「DHCP/BOOTP protocol」が「ENABLE」（有効）になっています。ネットワーク上にDHCP/BOOTPサーバがある場合はサーバから取得したIPアドレスが表示されます。**

❽ ［設定］メニューの［OKI Deviceの設定］を選択します。

「General」タブ画面が表示されたら？

☞ ⓭へ進みます。

❾ IP アドレスを設定するメッセージがでるので、［はい］をクリックします。

❿ IPアドレスを入力し、［OK］をクリックします。

⓫ 設定値を有効にするために［はい］をクリックします。

しばらくすると、一覧にイーサネットボードが表示されます。表示されてこない場合は［ファイル］メニューの［検索］を選択してください。

⓬ 一覧より、イーサネットボードを選択し、［設定］メニューの［OKI Deviceの設定］を選択します。

⓭ ［TCP/IP］タブの各項目を設定し、［設定］をクリックします。

① 「TCP/IP プロトコルを使用する」にチェックを付けます。

② 「DHCP/BOOTP を使用する」「RARP を使用する」のチェックを外します。

③ 「IP アドレス」を入力します。

④ 「サブネットマスク」を入力します。

⑤ 「デフォルトゲートウェイ」を入力します。

⑥ 「FTP/LPD バナーを使用する」のチェックを外します。

- **初期設定では「DHCP/BOOTPを使用する」にチェックが入っています。IP アドレスを設定すると自動的にチェックが外れます。**
- **「DNS サーバ」はSMTP（E-Mail）送信プロトコルを使用するときのみ設定します。**

⓮ 設定に間違いがなければ、［OK］をクリックします。

設定値がイーサネットボードに送信されます。

この時点では、イーサネットボードは送信前の設定値で動作しています。

⓯ 設定値を有効にするために、［はい］をクリックします。

⓰ AdminManager を終了します。

プリンタソフトウェアをセットアップします

以下の説明は、WindowsXP Home Edition を例にしています。

❶ 一旦「通常使うローカルプリンタ（LPT1：)」としてプリンタドライバをセットアップします。

プリンタドライバのセットアップ方法は、プリンタのユーザーズマニュアルもしくは沖データホームページ（http://www.okidata.co.jp）をご覧ください。

❷［スタート］-［コントロールパネル］を選択し、［プリンタとその他のハードウェア］をクリックします。

❸［コントロールパネルを選んで実行します］の［プリンタと FAX］をクリックします。

❹ 手順❶で追加したプリンタを右ボタンでクリックし、［プロパティ］を選択します。

❺［ポート］タブの［ポートの追加］をクリックします。

❻［Standard TCP/IP Port］を選択し、［新しいポート］をクリックします。

注 **［Standard TCP/IP Port］以外は選択しないでください。**

❼ 標準 TCP/IP プリンタポートの追加ウィザードが表示されたら、［次へ］をクリックします。

❽ ［プリンタ名またはIP アドレス］と［ポート名］を入力し、［次へ］をクリックします。

注 **IPアドレスに1桁または2桁までの数値を含む場合、数値の前に「0」を入力しないでください。通信が正しく行われない場合があります。**

（例）正しい入力値：192.168.0.2
誤った入力値：192.168.000.002

メモ **［ポート名］は任意の名前を付けてください。デフォルトはIP_（IPアドレス）です。**

ネットワーク上のイーサネットボードを検索します。

❾ ［デバイスの種類］で［カスタム］を選択し、［設定］をクリックします。

❿ ［プロトコル］が［Raw］、［ポート番号］が［9100］、［SNMPステータスを有効にする］のチェックが外れていることを確認し、［OK］をクリックします。

⓫ ［次へ］をクリックします。

⓬ ［完了］をクリックし、プロパティを閉じます。

セットアップは終了です。

IPP（TCP/IP）プロトコルを利用します

- IPアドレスの入力を間違えると、ネットワークがダウンするなど重大な障害が発生します。ネットワーク管理者と相談の上IPアドレスを決定してください。
- ネットワークの管理者の権限が必要です。

WindowsXP を設定します

以下の説明は、WindowsXP Home Edition を例にしています。

❶ ［スタート］-［コントロールパネル］を選択し、［ネットワークとインターネット接続］をクリックします。

❷ ［コントロールパネルを選んで実行します］の［ネットワーク接続］をクリックします。

❸ ［ローカルエリア接続］をダブルクリックし、［プロパティ］をクリックします。

❹ ［インターネットプロトコル（TCP/IP）］を選択し、［プロパティ］をクリックします。

❺ IPアドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイ、DNSサーバを入力し、［OK］をクリックします。

メモ **デフォルトゲートウェイやDNSサーバを使用しない場合は、入力しません。**

❻ ［ローカルエリア接続］を閉じます。

イーサネットボードを設定します

Standard Setup（AdminManager）を使用します。

❶ プリンタの電源がONになっていることを確認します。

❷ イーサネットボード付属の「ネットワークソフトウェアCD-ROM」をセットします。

Setup Utilityが自動的に起動します。

注 **自動的に起動しない場合は、CD-ROMの［Windows］フォルダの中の［Autorun.exe］をダブルクリックしてください。**

❸ 日本語をクリックします。

❹ ［OKI Device Standard Setup］をクリックします。

❺ ［インストールせずに、直接CD-ROMから起動する］を選択し、［次へ］をクリックします。

❻ 使用許諾契約に同意する場合は［はい］をクリックします。

AdminManagerが起動します。

❼ 一覧より、イーサネットアドレスを参照して、設定を行うイーサネットボードを選択します。

注
- **イーサネットアドレスは、自己診断テストに表示されています。**
- **初期設定では「DHCP/BOOTP protocol」が「ENABLE」（有効）になっています。ネットワーク上にDHCP/BOOTPサーバがある場合はサーバから取得したIPアドレスが表示されます。**

❽ ［設定］メニューの［OKI Deviceの設定］を選択します。

「General」タブ画面が表示されたら？

☞ ⓭へ進みます。

❾ IP アドレスを設定するメッセージがでるので、［はい］をクリックします。

❿ IPアドレスを入力し、[OK] をクリックします。

⓫ 設定値を有効にするために［はい］をクリックします。

しばらくすると、一覧にイーサネットボードが表示されます。表示されてこない場合は［ファイル］メニューの［検索］を選択してください。

⓬ 一覧より、イーサネットボードを選択し、［設定］メニューの［OKI Deviceの設定］を選択します。

⓭ [TCP/IP]タブの各項目を設定し、［設定］をクリックします。

① 「TCP/IP プロトコルを使用する」にチェックを付けます。

② 「DHCP/BOOTP を使用する」「RARPを使用する」のチェックを外します。

③ 「IP アドレス」を入力します。

④ 「サブネットマスク」を入力します。

⑤ 「デフォルトゲートウェイ」を入力します。

⑥ 「FTP/LPD バナーを使用する」のチェックを外します。

- **初期設定では「DHCP/BOOTP を使用する」にチェックが入っています。IP アドレスを設定すると自動的にチェックが外れます。**
- **「DNS サーバ」は SMTP（E-Mail）送信プロトコルを使用するときのみ設定します。**

⓮ ［SNMP］タブの［SysName］にプリンタ名を入力し、［設定］をクリックします。

メモ **プリンタ名は 255 文字以内の任意の名前を付けてください。デフォルトは「なし（空白)」です。**

⓯ 設定に間違いがなければ、［OK］をクリックします。

設定値がイーサネットボードに送信されます。

注 **この時点では、イーサネットボードは送信前の設定値で動作しています。**

⓰ 設定値を有効にするために、［はい］をクリックします。

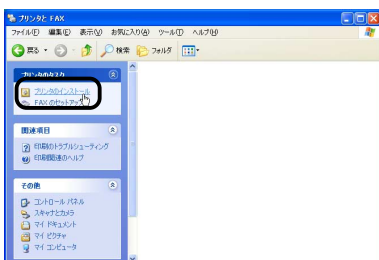
⓱ AdminManager を終了します。

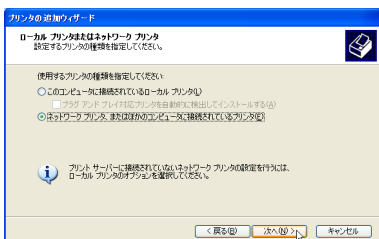
プリンタソフトウェアをセットアップします

以下の説明は、WindowsXP Home Edition を例にしています。

❶ ［スタート］-［コントロールパネル］を選択し、［プリンタとその他のハードウェア］をクリックします。

❷ ［コントロールパネルを選んで実行します］の［プリンタとFAX］をクリックします。

❸ ［プリンタのタスク］-［プリンタのインストール］をクリックします。

❹ 「プリンタの追加ウィザードの開始」画面で、［次へ］をクリックします。

❺ ［ネットワークプリンタ、またはほかのコンピュータに接続されているプリンタ］を選択し、［次へ］をクリックします。

❻ ［インターネット上または自宅/会社のネットワーク上のプリンタに接続する］を選択し、プリンタのURLを入力し、［次へ］をクリックします。

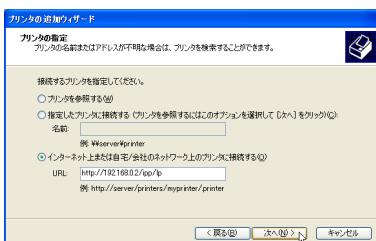
例1）プリンタのIPアドレスが「192.168.0.2」の場合

http://192.168.0.2/ipp/lp

例2）プリンタのURLが「ipp-printer1.okidata.co.jp」の場合

http://ipp-printer1.okidata.co.jp/ipp/lp

注

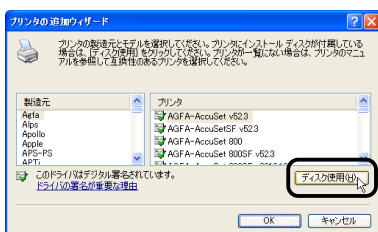
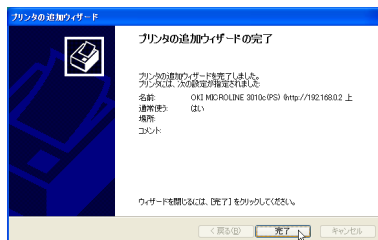
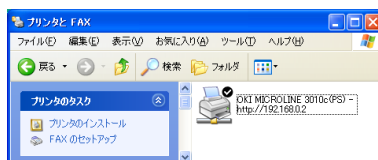
IPアドレスに1桁または2桁までの数値を含む場合、数値の前に「0」を入力しないでください。通信が正しく行われない場合があります。

（例）正しい入力値：

http://192.168.0.2/ipp/lp

誤った入力値：

http://192.168.000.002/ipp/lp

❼［ディスク使用］をクリックし、プリンタドライバをインストールします。

プリンタドライバのセットアップ方法は、プリンタのユーザーズマニュアルもしくは沖データホームページ（http://www.okidata.co.jp）をご覧ください。

❽［完了］をクリックします。

［プリンタと FAX］にプリンタのアイコンが表示されると、セットアップは終了です。

3 WindowsMe/98/95をセットアップします

セットアップについて

1　利用するプロトコルを決めます

WindowsMe/98/95では、LPR(TCP/IP)プロトコルとNetBEUIプロトコルを利用する場合の二つのセットアップ手順があります。まず、どちらを利用するか決めます。

プロトコル	
LPR(TCP/IP)プロトコル	LPR(TCP/IP)プロトコルは、プリンタやパソコンにIPアドレス等を設定して利用します。通常はこちらを使用します。
NetBEUIプロトコル	NetBEUIプロトコルは、小規模なネットワークで使用する場合に利用します。他のユーザが印刷中はエラーメッセージが表示され、印刷できないことがあります。

2　セットアップの流れ

LPR(TCP/IP)プロトコル

WindowsにTCP/IPプロトコルをインストールし、IPアドレス等を設定します。

↓

プリンタのイーサネットボードにIPアドレス等を設定します。

↓

プリンタドライバを「通常使うローカルプリンタ(LPT1:)」としてセットアップします。

↓

OKI LPRユーティリティ(LPR印刷機能)をWindowsにインストールし、ネットワークプリンタを作成します。

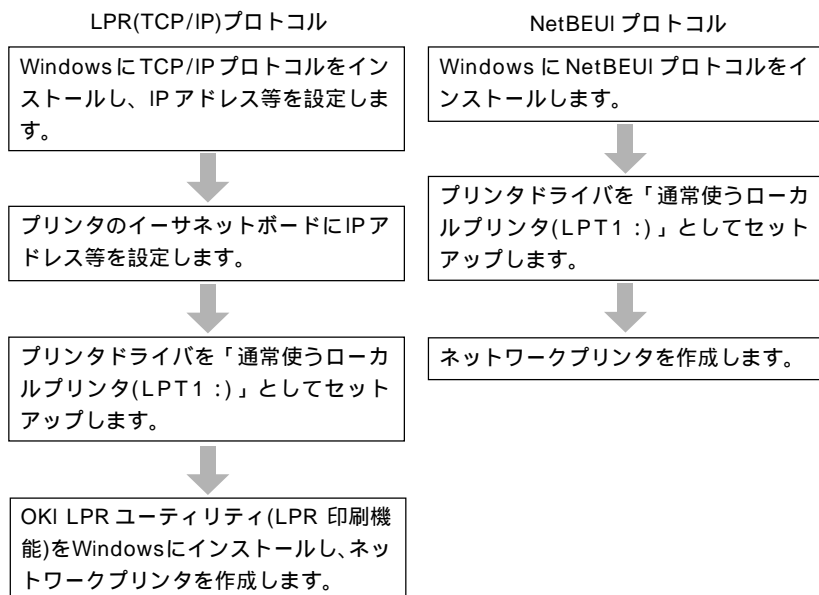
NetBEUIプロトコル

WindowsにNetBEUIプロトコルをインストールします。

↓

プリンタドライバを「通常使うローカルプリンタ(LPT1:)」としてセットアップします。

↓

ネットワークプリンタを作成します。

LPR（TCP/IP）プロトコルを利用します

- **IPアドレスの入力を間違えると、ネットワークがダウンするなど重大な障害が発生します。ネットワーク管理者と相談の上IPアドレスを決定してください。**
- **プリンタ1台とコンピュータ1台を接続するような小規模ネットワークは、43ページをご覧ください。**

WindowsMe/98/95を設定します

以下の説明は、Windows98を例にしています。

❶［スタート］-［設定］-［コントロールパネル］を選択します。

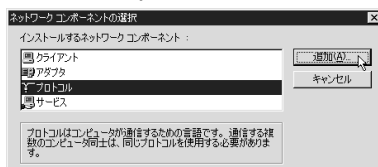
❷［ネットワーク］をダブルクリックします。
WindowsMeで［ネットワーク］が表示されていない場合は、［すべてのコントロールパネルのオプションを表示する］をクリックします。

［現在のネットワークコンポーネント］に［TCP/IP→*** (***はアダプタ名)］が表示されている場合は?

☞ ❻へ進みます。

［TCP/IP］プロトコルを追加します。

❸［追加］をクリックします。

❹［プロトコル］を選択し、［追加］をクリックします。

❺［Microsoft］を選択して［TCP/IP］を選択し、［OK］をクリックします。

❻ [TCP/IP→***](*** はアダプタ名)を選択し、[プロパティ] をクリックします。

❼ IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイを設定します。

❽ Windows を再起動します。

イーサネットボードを設定します

Standard Setup（AdminManager）を使用します。

❶ プリンタの電源がONになっていることを確認します。

❷ イーサネットボード付属の「ネットワークソフトウェアCD-ROM」をセットします。

Setup Utilityが自動的に起動します。

注 **自動的に起動しない場合は、CD-ROMの［Windows］フォルダの中の［Autorun.exe］をダブルクリックしてください。**

❸ 日本語をクリックします。

❹ ［OKI Device Standard Setup］をクリックします。

❺ ［インストールせずに、直接CD-ROMから起動する］を選択し、［次へ］をクリックします。

❻ 使用許諾契約に同意する場合は［はい］をクリックします。

AdminManagerが起動します。

❼ 一覧より、イーサネットアドレスを参照して、設定を行うイーサネットボードを選択します。

注
- **イーサネットアドレスは、自己診断テストに表示されています。**
- **初期設定では「DHCP/BOOTP protocol」が「ENABLE」（有効）になっています。ネットワーク上にDHCP/BOOTPサーバがある場合はサーバから取得したIPアドレスが表示されます。**

❽ [設定]メニューの[OKI Deviceの設定]を選択します。

「General」タブ画面が表示されたら?

☞ ⓭へ進みます。

❾ IP アドレスを設定するメッセージがでるので、[はい] をクリックします。

❿ IPアドレスを入力し、[OK] をクリックします。

⓫ 設定値を有効にするために[はい]をクリックします。

しばらくすると、一覧にイーサネットボードが表示されます。表示されてこない場合は [ファイル] メニューの [検索] を選択してください。

⓬ 一覧より、イーサネットボードを選択し、[設定] メニューの [OKI Deviceの設定] を選択します。

⓭ [TCP/IP]タブの各項目を設定し、[設定] をクリックします。

① 「TCP/IP プロトコルを使用する」にチェックを付けます。

② 「DHCP/BOOTP を使用する」「RARP を使用する」のチェックを外します。

③ 「IP アドレス」を入力します。

④ 「サブネットマスク」を入力します。

⑤ 「デフォルトゲートウェイ」を入力します。

⑥ 「FTP/LPD バナーを使用する」のチェックを外します。

注
- **初期設定では「DHCP/BOOTP を使用する」にチェックが入っています。IP アドレスを設定すると自動的にチェックが外れます。**
- **「DNS サーバ」は SMTP(E-Mail)送信プロトコルを使用するときのみ設定します。**

⓮ 設定に間違いがなければ、[OK] をクリックします。

設定値がイーサネットボードに送信されます。

注 **この時点では、イーサネットボードは送信前の設定値で動作しています。**

⓯ 設定値を有効にするために、[はい] をクリックします。

⓰ AdminManager を終了します。

プリンタソフトウェアをセットアップします

WindowsMe/98/95にはLPR印刷機能が搭載されていませんので「OKI LPRユーティリティ」を使用します。
以下の説明は、Windows98を例にしています。

❶ 一旦「通常使うローカルプリンタ(LPT1:)」としてプリンタドライバをセットアップします。

プリンタドライバのセットアップ方法は、プリンタのユーザーズマニュアルをご覧ください。

❷ イーサネットボード付属の「ネットワークソフトウェアCD-ROM」をセットします。

Setup Utilityが自動的に起動します。

❸ [Exit] をクリックして終了します。

❹ [スタート]-[ファイル名を指定して実行] を選択します。

❺ [名前] に次のように入力し、[OK] をクリックします。

D:\OKILPR\SETUP
CD-ROMドライブがD:の場合

❻ セットアッププログラムが開始されるので、[次へ] をクリックします。

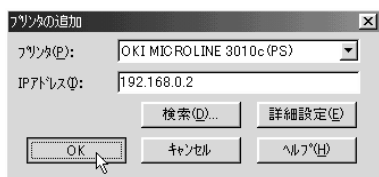
❼ インストール先とスプール先のフォルダを確認し、[次へ] をクリックします。

❽ [スタートアップに登録する] にチェックが入っていることを確認し、[次へ] をクリックします。

❾ プログラムフォルダ名を確認し、[次へ] をクリックします。

❿ [完了] をクリックすると、OKI LPRユーティリティが起動します。

⓫ ［リモートプリント］メニューの［プリンタの追加］を選択します。

⓬ ［プリンタ］を選択し、［IPアドレス］にイーサネットボードのIPアドレスを入力し、［OK］をクリックします。

メモ **［検索］をクリックしてネットワーク上のMICROLINEプリンタを検索することもできます。**

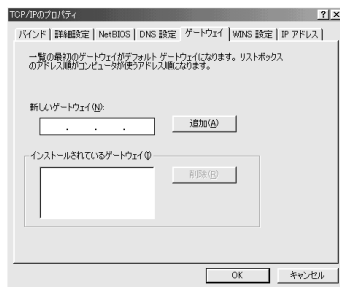
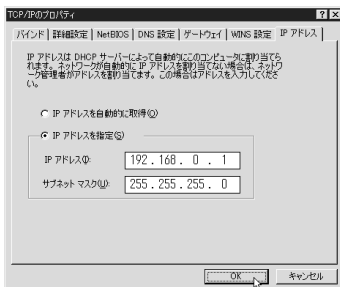
メインウィンドウにプリンタが追加されます。

セットアップは終了です。

OKI LPRユーティリティを起動させたまま、アプリケーションソフトから印刷します。

メモ **コンピュータ1台とプリンタ1台を接続するような小規模ネットワークでは、次のように設定してください（「RFC1918」による）。**

コンピュータ

IP アドレス	: 192.168.0.1 ～ 254 のいずれか
サブネットマスク	: 255.255.255.0
ゲートウェイ	: 0.0.0.0（使用しません）
DNS	: 使用しません

プリンタ

IP アドレス	: 192.168.0.1 ～ 254 のいずれか （コンピュータと異なるもの）
サブネットマスク	: 255.255.255.0
ゲートウェイ	: 0.0.0.0
DHCP/BOOTP を使用する	: チェックしない
RARP を使用する	: チェックしない

NetBEUI プロトコルを利用します

WindowsMe/98/95 を設定します

以下の説明は、Windows98 を例にしています。

❶ ［スタート］-［設定］-［コントロールパネル］を選択します。

❷ ［ネットワーク］をダブルクリックします。
WindowsMeで［ネットワーク］が表示されていない場合は、［すべてのコントロールパネルのオプションを表示する］をクリックします。

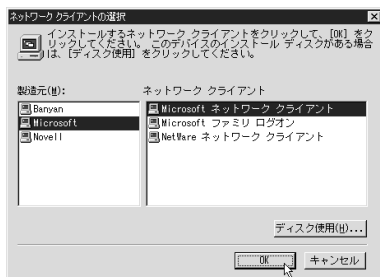
［現在のネットワークコンポーネント］に［Microsoft ネットワーククライアント］と［NetBEUI→***］（*** はアダプタ名）が表示されている場合は?

☞「プリンタソフトウェアをセットアップします」（45 ページ）へ進みます。

［Microsoft ネットワーククライアント］を追加します。

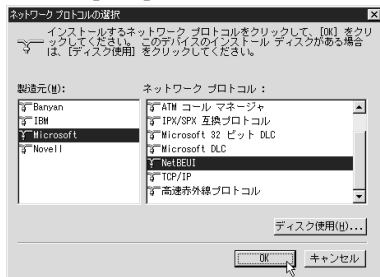
❸ ［追加］をクリックします。

❹ ［クライアント］を選択し、［追加］をクリックします。

❺ ［Microsoft］を選択し、［Microsoftネットワーククライアント］を選択し、［OK］をクリックします。

［NetBEUI］プロトコルを追加します。

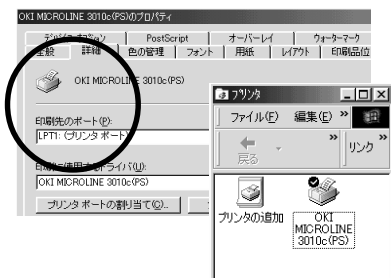
❻ ［追加］をクリックします。

❼ ［プロトコル］を選択し、［追加］をクリックします。

❽ ［Microsoft］を選択し、［NetBEUI］を選択し、［OK］をクリックします。

❾ Windows を再起動します。

プリンタソフトウェアをセットアップします

❶ 一旦「通常使うローカルプリンタ（LPT1：）」としてプリンタドライバをセットアップします。

プリンタドライバのセットアップ方法は、プリンタのユーザーズマニュアルをご覧ください。

❷ ［スタート］-［設定］-［プリンタ］を選択します。

❸ 手順❶で追加したプリンタを右ボタンでクリックし、［プロパティ］を選択します。

❹ ［詳細］タブの［ポートの追加］をクリックします。

❺ ［ネットワーク］を選択し、［参照］をクリックします。

❻ ［ネットワーク全体］-［PrintServer］-［ML******］(****** はイーサネットアドレスの下６桁)をダブルクリックします。

［PrintServer］と［ML****］は、自己診断テストに表示される［Workgroup name］と［Computer name］です。**

❼ ［Prn1］を選択し、［OK］をクリックします。

❽ ［プリンタへのネットワークパス］が指定されたことを確認し、[OK]をクリックします。

❾ プロパティを閉じます。

セットアップは終了です。

4 Windows2000をセットアップします

セットアップについて

1 利用するプロトコルを決めます

Windows2000 では、LPR(TCP/IP)プロトコル、IPP(TCP/IP)プロトコル、NetBEUI プロトコルを利用する場合の三つのセットアップ手順があります。まず、どれを利用するか決めます。

プロトコル	
LPR(TCP/IP)プロトコル	LPR(TCP/IP)プロトコルは、プリンタやパソコンにIPアドレス等を設定して利用します。通常はこちらを使用します。
IPP(TCP/IP)プロトコル	IPP(TCP/IP)プロトコルは、Internet経由で遠隔地にあるプリンタに直接印刷する場合に利用します。ファイアウォールを越えた印刷が可能です。
NetBEUI プロトコル	NetBEUIプロトコルは、小規模なネットワークで使用する場合に利用します。他のユーザが印刷中はエラーメッセージが表示され、印刷できないことがあります。

2 セットアップの流れ

LPR(TCP/IP)プロトコル

Windows にIP アドレス等を設定します。

↓

プリンタのイーサネットボードにIP アドレス等を設定します。

↓

プリンタドライバを「通常使うローカルプリンタ(LPT1 :)」としてセットアップします。

↓

ネットワークプリンタを作成します。

IPP(TCP/IP)プロトコル

Windows にIP アドレス等を設定します。

↓

プリンタのイーサネットボードにIP アドレス等を設定します。

↓

プリンタドライバを「ネットワークプリンタ」としてセットアップします。

↓

ネットワークプリンタが作成されます。

NetBEUI プロトコル

Windows に NetBEUI プロトコルをインストールします。

↓

プリンタドライバを「通常使うローカルプリンタ(LPT1 :)」としてセットアップします。

↓

ネットワークプリンタを作成します。

LPR（TCP/IP）プロトコルを利用します

- **IP アドレスの入力を間違えると、ネットワークがダウンするなど重大な障害が発生します。ネットワーク管理者と相談の上IP アドレスを決定してください。**
- **プリンタ 1 台とコンピュータ 1 台を接続するような小規模ネットワークは 43 ページをご覧ください。**
- **ネットワークの管理者の権限が必要です。**

Windows2000 を設定します

❶ ［スタート］-［設定］-［ネットワークとダイアルアップ接続］を選択します。

❷ ［ローカルエリア接続］をダブルクリックし、［プロパティ］をクリックします。

❸ ［インターネットプロトコル（TCP/IP)］を選択し、［プロパティ］をクリックします。

❹ IPアドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイ、DNS サーバを入力し、［OK］をクリックします。

メモ **デフォルトゲートウェイや DNS サーバを使用しない場合は、入力しません。**

❺ ［ローカルエリア接続］を閉じます。

イーサネットボードを設定します

Standard Setup（AdminManager）を使用します。

❶ プリンタの電源がONになっていることを確認します。

❷ イーサネットボード付属の「ネットワークソフトウェアCD-ROM」をセットします。

Setup Utilityが自動的に起動します。

注 **自動的に起動しない場合は、CD-ROMの［Windows］フォルダの中の［Autorun.exe］をダブルクリックしてください。**

❸ 日本語をクリックします。

❹ ［OKI Device Standard Setup］をクリックします。

❺ ［インストールせずに、直接CD-ROMから起動する］を選択し、［次へ］をクリックします。

❻ 使用許諾契約に同意する場合は［はい］をクリックします。

AdminManagerが起動します。

❼ 一覧より、イーサネットアドレスを参照して、設定を行うイーサネットボードを選択します。

注
- **イーサネットアドレスは、自己診断テストに表示されています。**
- **初期設定では「DHCP/BOOTP protocol」が「ENABLE」（有効）になっています。ネットワーク上にDHCP/BOOTPサーバがある場合はサーバから取得したIPアドレスが表示されます。**

❽ [設定]メニューの[OKI Deviceの設定]を選択します。

「General」タブ画面が表示されたら?

☞ ⓭へ進みます。

❾ IP アドレスを設定するメッセージがでるので、[はい] をクリックします。

❿ IPアドレスを入力し、[OK] をクリックします。

⓫ 設定値を有効にするために[はい]をクリックします。

しばらくすると、一覧にイーサネットボードが表示されます。表示されてこない場合は [ファイル] メニューの [検索] を選択してください。

⓬ 一覧より、イーサネットボードを選択し、[設定] メニューの [OKI Deviceの設定] を選択します。

⓭ [TCP/IP]タブの各項目を設定し、[設定] をクリックします。

① 「TCP/IP プロトコルを使用する」にチェックを付けます。

② 「DHCP/BOOTP を使用する」「RARP を使用する」のチェックを外します。

③ 「IP アドレス」を入力します。

④ 「サブネットマスク」を入力します。

⑤ 「デフォルトゲートウェイ」を入力します。

⑥ 「FTP/LPD バナーを使用する」のチェックを外します。

- **初期設定では「DHCP/BOOTP を使用する」にチェックが入っています。IP アドレスを設定すると自動的にチェックが外れます。**
- **「DNS サーバ」は SMTP(E-Mail)送信プロトコルを使用するときのみ設定します。**

⓮ 設定に間違いがなければ、[OK] をクリックします。

設定値がイーサネットボードに送信されます。

この時点では、イーサネットボードは送信前の設定値で動作しています。

⓯ 設定値を有効にするために、[はい] をクリックします。

⓰ AdminManager を終了します。

プリンタソフトウェアをセットアップします

❶ 一旦「通常使うローカルプリンタ(LPT1:)」としてプリンタドライバをセットアップします。

プリンタドライバのセットアップ方法は、プリンタのユーザーズマニュアルをご覧ください。

❷［スタート］-［設定］-［プリンタ］を選択します。

❸ 手順❶で追加したプリンタを右ボタンでクリックし、［プロパティ］を選択します。

❹［ポート］タブの［ポートの追加］をクリックします。

❺［Standard TCP/IP Port］を選択し、［新しいポート］をクリックします。

注 ［Standard TCP/IP Port］以外は選択しないでください。

❻ 標準TCP/IPプリンタポートの追加ウィザードが表示されたら、［次へ］をクリックします。

❼［プリンタ名またはIPアドレス］と［ポート名］を入力し、［次へ］をクリックします。

注 IPアドレスに1桁または2桁までの数値を含む場合、数値の前に「0」を入力しないでください。通信が正しく行われない場合があります。

（例）正しい入力値：192.168.0.2
誤った入力値：192.168.000.002

メモ ［ポート名］は任意の名前を付けてください。デフォルトはIP_（IPアドレス）です。

ネットワーク上のイーサネットボードを検索します。

❽ ［デバイスの種類］で［カスタム］を選択し、［設定］をクリックします。

❾ ［プロトコル］が［RAW］、［ポート番号］が［9100］、［SNMPステータスを有効にする］のチェックが外れていることを確認し、［OK］をクリックします。

❿ ［次へ］をクリックします。

⓫ ［完了］をクリックし、プロパティを閉じます。

セットアップは終了です。

IPP（TCP/IP）プロトコルを利用します

- **IPアドレスの入力を間違えると、ネットワークがダウンするなど重大な障害が発生します。ネットワーク管理者と相談の上IPアドレスを決定してください。**
- **ネットワークの管理者の権限が必要です。**

Windows2000を設定します

❶ ［スタート］-［設定］-［ネットワークとダイアルアップ接続］を選択します。

❷ ［ローカルエリア接続］をダブルクリックし、［プロパティ］をクリックします。

❸ ［インターネットプロトコル（TCP/IP）］を選択し、［プロパティ］をクリックします。

❹ IPアドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイ、DNSサーバを入力し、［OK］をクリックします。

メモ **デフォルトゲートウェイやDNSサーバを使用しない場合は、入力しません。**

❺ ［ローカルエリア接続］を閉じます。

イーサネットボードを設定します

Standard Setup（AdminManager）を使用します。

❶ プリンタの電源がONになっていることを確認します。

❷ イーサネットボード付属の「ネットワークソフトウェアCD-ROM」をセットします。

Setup Utilityが自動的に起動します。

注 **自動的に起動しない場合は、CD-ROMの［Windows］フォルダの中の［Autorun.exe］をダブルクリックしてください。**

❸ 日本語をクリックします。

❹ ［OKI Device Standard Setup］をクリックします。

❺ ［インストールせずに、直接CD-ROMから起動する］を選択し、［次へ］をクリックします。

❻ 使用許諾契約に同意する場合は［はい］をクリックします。

AdminManagerが起動します。

❼ 一覧より、イーサネットアドレスを参照して、設定を行うイーサネットボードを選択します。

注
- **イーサネットアドレスは、自己診断テストに表示されています。**
- **初期設定では「DHCP/BOOTP protocol」が「ENABLE」（有効）になっています。ネットワーク上にDHCP/BOOTPサーバがある場合はサーバから取得したIPアドレスが表示されます。**

❽ [設定]メニューの[OKI Deviceの設定]を選択します。

「General」タブ画面が表示されたら？

 ⓭へ進みます。

❾ IP アドレスを設定するメッセージがでるので、[はい] をクリックします。

❿ IPアドレスを入力し、[OK] をクリックします。

⓫ 設定値を有効にするために [はい] をクリックします。

しばらくすると、一覧にイーサネットボードが表示されます。表示されてこない場合は [ファイル] メニューの [検索] を選択してください。

⓬ 一覧より、イーサネットボードを選択し、[設定] メニューの [OKI Deviceの設定] を選択します。

⓭ [TCP/IP]タブの各項目を設定し、[設定] をクリックします。

① 「TCP/IP プロトコルを使用する」にチェックを付けます。

② 「DHCP/BOOTP を使用する」「RARP を使用する」のチェックを外します。

③ 「IP アドレス」を入力します。

④ 「サブネットマスク」を入力します。

⑤ 「デフォルトゲートウェイ」を入力します。

⑥ 「FTP/LPD バナーを使用する」のチェックを外します。

注
- **初期設定では「DHCP/BOOTP を使用する」にチェックが入っています。IP アドレスを設定すると自動的にチェックが外れます。**
- **「DNS サーバ」は SMTP（E-Mail）送信プロトコルを使用するときのみ設定します。**

⓮ 設定に間違いがなければ、[OK] をクリックします。

設定値がイーサネットボードに送信されます。

注 **この時点では、イーサネットボードは送信前の設定値で動作しています。**

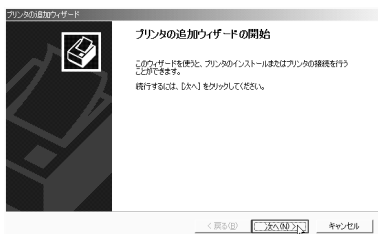
⓯ 設定値を有効にするために、[はい] をクリックします。

⓰ AdminManager を終了します。

プリンタソフトウェアをセットアップします

❶ ［スタート］-［設定］-［プリンタ］を選択します。

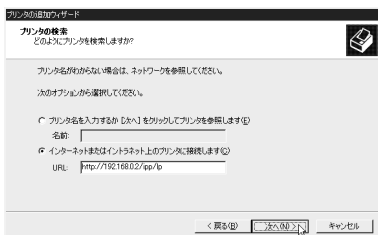
❷ ［プリンタの追加］をダブルクリックします。

プリンタの追加ウィザードが起動します。

❸ ［次へ］をクリックします。

❹ ［ネットワークプリンタ］を選択し、［次へ］をクリックします。

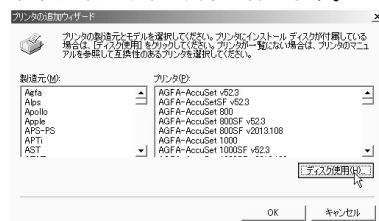
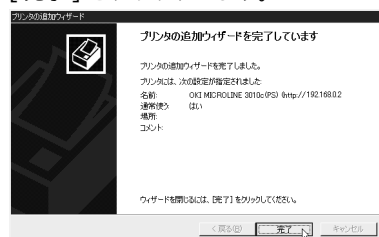
❺ ［インターネットまたはイントラネット上のプリンタに接続します］を選択し、プリンタのURLを入力し、［次へ］をクリックします。

例 1）プリンタの IP アドレスが「192.168.0.2」の場合
http://192.168.0.2/ipp/lp

例 2）プリンタの URL が「ipp-printer1.okidata.co.jp」の場合
http://ipp-printer1.okidata.co.jp/ipp/lp

注 **IP アドレスに1桁または2桁までの数値を含む場合、数値の前に「0」を入力しないでください。通信が正しく行われない場合があります。**

（例）正しい入力値：
http://192.168.0.2/ipp/lp
誤った入力値：
http://192.168.000.002/ipp/lp

❻ ［OK］をクリックします。

❼ ［ディスク使用］をクリックし、プリンタドライバをインストールします。

プリンタドライバのセットアップ方法は、プリンタのユーザーズマニュアルをご覧ください。

❽ ［完了］をクリックします。

［プリンタ］フォルダにプリンタのアイコンが表示されると、セットアップは終了です。

NetBEUI プロトコルを利用します

注 ・ネットワークの管理者の権限が必要です。

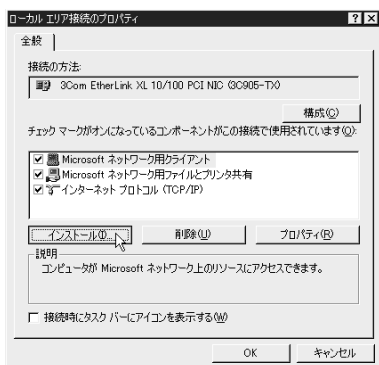
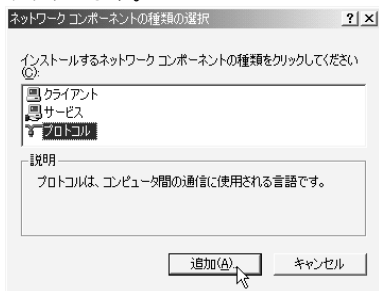
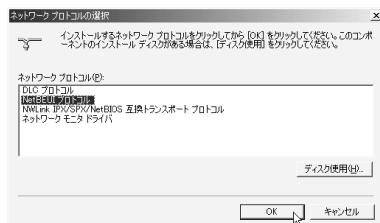
Windows2000 を設定します

❶ ［スタート］-［設定］-［ネットワークとダイアルアップ接続］を選択します。

❷ ［ローカルエリア接続］をダブルクリックし、［プロパティ］をクリックします。

［NetBEUI プロトコル］が表示されている場合は？

☞「プリンタソフトウェアをセットアップします」（59 ページ）へ進みます。

❸ ［インストール］をクリックします。

❹ ［プロトコル］を選択し、［追加］をクリックします。

❺ ［NetBEUI プロトコル］を選択し、［OK］をクリックします。

❻ ［ローカルエリア接続］を閉じます。

プリンタソフトウェアをセットアップします

❶ 一旦「通常使うローカルプリンタ（LPT1：）」としてプリンタドライバをセットアップします。

プリンタドライバのセットアップ方法は、プリンタのユーザーズマニュアルをご覧ください。

❷［スタート］-［設定］-［プリンタ］を選択します。

❸ 手順❶で追加したプリンタを右ボタンでクリックし、［プロパティ］を選択します。

❹［ポート］タブの［ポートの追加］をクリックします。

❺［LocalPort］を選択し、［新しいポート］をクリックします。

注 **［LocalPort］以外は選択しないでください。**

❻［ポート名を入力してください］に［\\ML******\PRN1］（****** はイーサネットアドレスの下６桁）と入力し、［OK］をクリックします。

注 **「ML******」は自己診断テストに表示される「Computer name」です。**

❼ プロパティを閉じます。

セットアップは終了です。

5 WindowsNT4.0をセットアップします

セットアップについて

1　利用するプロトコルを決めます

WindowsNT4.0では、LPR(TCP/IP)プロトコルとNetBEUIプロトコルを利用する場合の二つのセットアップ手順があります。まず、どちらを利用するか決めます。

プロトコル	
LPR(TCP/IP)プロトコル	LPR(TCP/IP)プロトコルは、プリンタやパソコンにIPアドレス等を設定して利用します。通常はこちらを使用します。
NetBEUIプロトコル	NetBEUIプロトコルは、小規模なネットワークで使用する場合に利用します。他のユーザが印刷中はエラーメッセージが表示され、印刷できないことがあります。

2　セットアップの流れ

LPR(TCP/IP)プロトコル

WindowsにTCP/IPプロトコルをインストールし、IPアドレス等を設定します。

↓

プリンタのイーサネットボードにIPアドレス等を設定します。

↓

プリンタドライバを「通常使うローカルプリンタ(LPT1:)」としてセットアップします。

↓

ネットワークプリンタを作成します。

NetBEUIプロトコル

WindowsにNetBEUIプロトコルをインストールします。

↓

プリンタドライバを「通常使うローカルプリンタ(LPT1:)」としてセットアップします。

↓

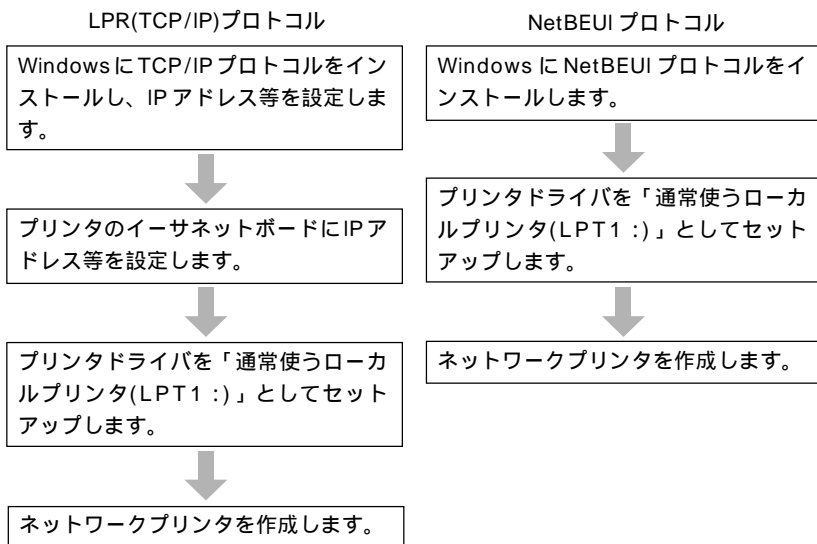
ネットワークプリンタを作成します。

LPR（TCP/IP）プロトコルを利用します

- **IPアドレスの入力を間違えると、ネットワークがダウンするなど重大な障害が発生します。ネットワーク管理者と相談の上、IPアドレスを決定してください。**
- **プリンタ1台とコンピュータ1台を接続するような小規模ネットワークは、43 ページをご覧ください。**
- **ネットワークの管理者の権限が必要です。**

WindowsNT4.0 を設定します

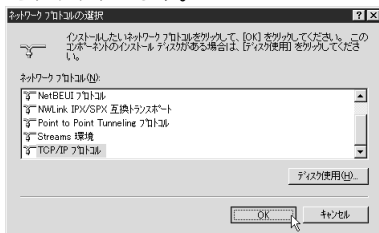
以下の説明は、WindowsNTServer4.0 を例にしています。

❶［スタート］-［設定］-［コントロールパネル］を選択します。

❷［ネットワーク］をダブルクリックし［プロトコル］タブを開きます。

［ネットワークプロトコル］に［TCP/IP プロトコル］が表示されている場合は?

☞ ❺へ進みます。

❸［追加］をクリックします。

❹［TCP/IP プロトコル］を選択し、［OK］をクリックします。

❺［TCP/IP プロトコル］を選択し、［プロパティ］をクリックします。

❻ IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイ、DNS をそれぞれ入力し、［OK］をクリックします。

メモ **デフォルトゲートウェイや DNS サーバを使用しない場合は、入力しません。**

❼ ［サービス］タブを開きます。

［Microsoft TCP/IP 印刷］が表示されている場合は?

☞「イーサネットボードを設定します」（65 ページ）へ進みます。

❽ ［追加］をクリックします。

❾ ［Microsoft TCP/IP 印刷］を選択し、［OK］をクリックします。

❿ Windows を再起動します。

イーサネットボードを設定します

Standard Setup（AdminManager）を使用します。

❶ プリンタの電源がONになっていることを確認します。

❷ イーサネットボード付属の「ネットワークソフトウェアCD-ROM」をセットします。

Setup Utilityが自動的に起動します。

注 **自動的に起動しない場合は、CD-ROMの［Windows］フォルダの中の［Autorun.exe］をダブルクリックしてください。**

❸ 日本語をクリックします。

❹ ［OKI Device Standard Setup］をクリックします。

❺ ［インストールせずに、直接CD-ROMから起動する］を選択し、［次へ］をクリックします。

❻ 使用許諾契約に同意する場合は［はい］をクリックします。

AdminManagerが起動します。

❼ 一覧より、イーサネットアドレスを参照して、設定を行うイーサネットボードを選択します。

注
- **イーサネットアドレスは、自己診断テストに表示されています。**
- **初期設定では「DHCP/BOOTP protocol」が「ENABLE」（有効）になっています。ネットワーク上にDHCP/BOOTPサーバがある場合はサーバから取得したIPアドレスが表示されます。**

❽ [設定]メニューの[OKI Deviceの設定]を選択します。

「General」タブ画面が表示されたら?

☞ ⓭へ進みます。

❾ IP アドレスを設定するメッセージがでるので、[はい] をクリックします。

❿ IPアドレスを入力し、[OK] をクリックします。

⓫ 設定値を有効にするために [はい] をクリックします。

しばらくすると、一覧にイーサネットボードが表示されます。表示されてこない場合は [ファイル] メニューの [検索] を選択してください。

⓬ 一覧より、イーサネットボードを選択し、[設定] メニューの [OKI Deviceの設定] を選択します。

⓭ [TCP/IP]タブの各項目を設定し、[設定] をクリックします。

① 「TCP/IP プロトコルを使用する」にチェックを付けます。

② 「DHCP/BOOTP を使用する」「RARP を使用する」のチェックを外します。

③ 「IP アドレス」を入力します。

④ 「サブネットマスク」を入力します。

⑤ 「デフォルトゲートウェイ」を入力します。

⑥ 「FTP/LPD バナーを使用する」のチェックを外します。

- **初期設定では「DHCP/BOOTP を使用する」にチェックが入っています。IP アドレスを設定すると自動的にチェックが外れます。**
- **「DNS サーバ」は SMTP(E-Mail)送信プロトコルを使用するときのみ設定します。**

⓮ 設定に間違いがなければ、[OK] をクリックします。

設定値がイーサネットボードに送信されます。

注

この時点では、イーサネットボードは送信前の設定値で動作しています。

⓯ 設定値を有効にするために、[はい] をクリックします。

⓰ AdminManager を終了します。

プリンタソフトウェアをセットアップします

❶ 一旦「通常使うローカルプリンタ（LPT1：）」としてプリンタドライバをセットアップします。

プリンタドライバのセットアップ方法は、プリンタのユーザーズマニュアルをご覧ください。

❷ ［スタート］-［設定］-［プリンタ］を選択します。

❸ 手順❶で追加したプリンタを右ボタンでクリックし、［プロパティ］を選択します。

❹ ［ポート］タブの［ポートの追加］をクリックします。

❺ ［LPR Port］を選択し、［新しいポート］をクリックします。

［LPR Port］以外は選択しないでください。

❻ ［プリンタのIPアドレス］と［プリンタキュー名］を入力します。

プリンタキュー名は、必ず［lp］と入力してください。［lp］以外では正常な印刷ができません。

❼ ［OK］、［閉じる］をクリックし、プロパティを閉じます。

セットアップは終了です。

NetBEUI プロトコルを利用します

注 ネットワークの管理者の権限が必要です。

WindowsNT4.0 を設定します

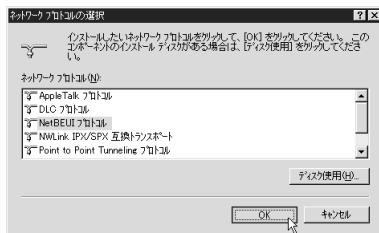
以下の説明は、WindowsNTServer4.0 を例にしています。

❶ ［スタート］-［設定］-［コントロールパネル］を選択します。

❷ ［ネットワーク］をダブルクリックし、［プロトコル］タブを開きます。

［NetBEUIプロトコル］が表示されている場合は?

☞「プリンタソフトウェアをセットアップします」（69 ページ）へ進みます。

［NetBEUI プロトコル］を追加します。

❸ ［追加］をクリックします。

❹ ［NetBEUIプロトコル］を選択し、［OK］をクリックします。

❺ Windows を再起動します。

プリンタソフトウェアをセットアップします

❶ 一旦「通常使うローカルプリンタ（LPT1：）」としてプリンタドライバをセットアップします。

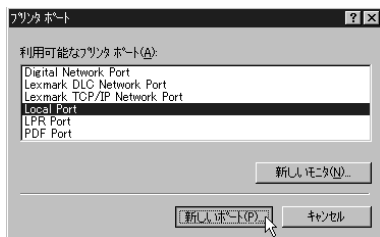
プリンタドライバのセットアップ方法は、プリンタのユーザーズマニュアルをご覧ください。

❷ ［スタート］-［設定］-［プリンタ］を選択します。

❸ 手順❶で追加したプリンタを右ボタンでクリックし、［プロパティ］を選択します。

❹ ［ポート］タブの［ポートの追加］をクリックします。

❺ ［Local Port］を選択し、［新しいポート］をクリックします。

注 ［Local Port］以外は選択しないでください。

❻ ［ポート名の入力］に［\\ML******\PRN1］（****** イーサネットアドレスの下6桁）と入力し、［OK］をクリックします。

注 ［ML****］は、自己診断テストに表示される「Computer name」です。**

❼ プロパティを閉じます。

セットアップは終了です。

6 Macintosh をセットアップします

セットアップについて

EtherTalkプロトコルはPostScriptエミュレーションを持たないプリンタでは使用できません。

1　EtherTalk プロトコルを利用します

2　セットアップの流れ

MacintoshにEtherTalkを設定します。

プリンタドライバをインストールします。

ネットワークプリンタを作成します。

EtherTalk プロトコルを利用します

EtherTalk 用プリンタドライバのないプリンタでは利用できません。

Macintosh を設定します

以下の説明は、MacOS9.0 を例にしています。

❶ [アップルメニュー] - [コントロールパネル] - [AppleTalk] を選択します。

❷ [Ethernet] を選択し、[AppleTalk] を閉じます。

❸ [設定の保存] 画面が表示されたら、[保存] をクリックします。

プリンタソフトウェアをインストールします

以下の説明は、MacOS9.0を例にしています。

❶ Macintoshにプリンタドライバをインストールします。

プリンタドライバのインストール方法はプリンタのユーザーズマニュアルをご覧ください。

❷ ［アップルメニュー］-［セレクタ］を選択します。

❸ 「プリンタドライバ」をクリックし、「プリンタ名」をクリックします。

注 **プリンタ名は、自己診断テストに表示されている「EtherTalk port name」です。**

❹ 作成をクリックします。

プリンタ名の横にアイコンが表示されます。

❺ セレクタを閉じます。

デスクトップ上にデスクトップ・プリンタ・アイコンが表示されます。

メモ **複数の論理ゾーンで区切られているEtherTalk上で、プリンタを他のゾーンに変更したい場合、プリンタ名を変更したい場合は「Setup Utility（Macintosh）」（128ページ）を使います。**

❻ 必要に応じてスクリーンフォントをインストールします。

スクリーンフォントのインストール方法はプリンタのユーザーズマニュアルをご覧ください。

7 UNIXをセットアップします

LPD プロトコルを利用します

TCP/IP の LPD プロトコル（lpr, lp コマンド）を使用して印刷する方法を説明します。lpr, lp コマンドの詳細は UNIX のマニュアルをご覧ください。

LPD について

LPD（Line Printer Daemon）はネットワーク上のプリンタに印刷するためのプロトコルです。

論理プリンタについて

本イーサネットボードには 3 つの論理プリンタがあります。

論理プリンタ	機　能
lp	プリンタドライバを使用したファイルを印刷する場合
sjis	シフト JIS 漢字コードのファイルを印刷する場合
euc	euc 漢字コードのファイルを印刷する場合

sjis, euc はポストスクリプトプリンタのみの機能です。

イーサネットボードを設定します

telnetを使用します。

以下の環境を例にしています。

UNIX	: Sun Solaris 2.4
IPアドレス	: 192.168.0.2
イーサネットアドレス	: 00:80:92:00:13:46

❶ UNIXにルートでログインします。

❷ arpコマンドでイーサネットボードに一時的なIPアドレスを設定します。

```
# arp -s 192.168.0.2
00:80:92:00:13:46 temp
```

注 イーサネットアドレスは自己診断テストに表示されています。

❸ pingコマンドで接続を確認します。

```
# ping 192.168.0.2
```

❹ telnetでイーサネットボードにログインします。

注 「login」名は「root」、「password」は「なし」（初期値）です。

```
telnet  192.168.0.2
Trying 192.168.0.2 ...
Connected to 192.168.0.2
Escape character is '^]'.
EthernetBoard MLETB09 Ver 1.0.0 TELNET
server.
login: root
'root' user needs password to login.
password:
User 'root' logged in.
No. Message    Value    (level.1)
--------------------------------------
 1 : Setup TCP/IP
 2 : Setup SNMP
 3 : Setup NetWare
 4 : Setup EtherTalk
 5 : Setup NetBEUI
 6 : Setup printer port
 7 : Display status
 8 : Setup printer trap
 9 : Setup SMTP(E-Mail)
97 : Reset to factory set
98 : Quit setup
99 : Exit setup
Please select(1-99)?
```

❺「1」を入力し、「Enterキー」を押し、次のように設定します。

```
Please select(1-99)? _1
No. Message    Value
--------------------------------------
 1 : TCP/IP protocol  : ENABLE
 2 : IP address       : 192.168.0.2
 3 : Subnet mask      : 255.255.255.0
 4 : Gateway address  : 0.0.0.0
 5 : RARP protocol    : DISABLE
 6 : DHCP/BOOTP protocol : DISABLE
 7 : DNS server(Pri.) : 0.0.0.0
 8 : DNS server(Sec.) : 0.0.0.0
 9 : root password    : " "
99 : Back to prior menu
Please select(1-99)?
```

❻ ログアウトします。

❼ 新しい設定を有効にするために、プリンタの電源をOFF/ONします。

注 プリンタの電源をOFF/ONするまでは、イーサネットボードは送信前の設定値で動作しています。必ずプリンタの電源をOFF/ONしてください。

UNIX を設定し印刷します

Sun OS4.X.Xの場合

- **スーパーバイザーの権限が必要です。**
- **SunOS4.1.3 を例にしています。**

❶ UNIX にルートでログインします。

❷ /etc/hosts ファイルにイーサネットボードのIP アドレスとホスト名を登録します。

```
192.168.0.2 ML
```

❸ ping コマンドで接続を確認します。

```
# ping ML
```

❹ /etc/printcapファイルにプリンタを登録します。

```
ML_lp:¥
  :lp=:rm=ML:rp=lp:¥
  :sd=/usr/spool/ML_lp:¥
  :lf=/usr/spool/ML_lp/ML_lp_errs:
```

〈各変数の意味〉

lp ：プリンタを接続するデバイスファイル名。指定する必要はありません。

rm ：リモートプリンタのホスト名。手順❷で登録したホスト名を入力します。

rp ：リモートプリンタのプリンタ名。イーサネットボードの論理プリンタ名で通常は lp を選択します。

sd ：スプールディレクトリ。絶対パスで指定します。

lf ：エラーログファイル。絶対パスで指定します。

❺ 手順❹で登録したスプールディレクトリとエラーログファイルを作成します。

```
# mkdir /usr/spool/ML_lp
# touch /usr/spool/ML_lp/ML_lp_errs
# chown -R daemon /usr/spool/ML_lp
# chgrp -R daemon /usr/spool/ ML_lp
```

❻ lpd（プリンタデーモン）が起動しているかどうかを調べます。

```
# PS aux | grep lpd
```

lpd が動作していない場合、スーパーユーザーのアカウントで下記のコマンドを実行してください。

```
# /usr/lib/lpd&
```

❼ 作成したプリントキューを有効にします。

```
# lpc restart ML_lp
```

❽ 印刷します。

```
# lpr -PML_lp 〈ファイル名〉
```

❾ 印刷要求を取り消します。

```
# lprm -PML_lp 〈ジョブ番号〉
```

❿ プリンタの状態を確認します。

ショートフォーマットの場合

```
# lpq -PML_lp
```

ロングフォーマットの場合

```
#lpq -l -PML_lp
```

- **lpq のショートフォーマットはUNIX互換フォーマットですが､ロングフォーマットはプリンタの状態を表示する本イーサネットボード独自のフォーマットです。**
- **UNIXの仕様により正常に表示できない場合があります。**

Sun Solaris2.6および8の場合

- **スーパーバイザーの権限が必要です。**
- **OpenWindows上よりAdmintoolを使ってリモートプリンタを登録する方法は、出力先とキューの名称が同一になるため本イーサネットボードでは利用できません。リモートプリンタの登録は以下の方法で行ってください。**
- **Solaris 2.x はシステムの仕様上、リモートプリンタとの接続が長時間滞った場合にエラーとみなし、強制切断するようになっています。従って、印刷中に用紙切れやオフラインなどのエラーによって待ち時間が発生した場合には印刷が打ち切られてしまいます。**

❶ UNIX にルートでログインします。

❷ /etc/hosts ファイルにイーサネットボードの IP アドレスとホスト名を登録します。

```
192.168.0.2 ML
```

❸ ping コマンドで接続を確認します。

```
# ping ML
```

❹ プリントサーバを登録します。

```
# lpadmin -p ML_lp -m netstandard -
o protocol=bsd -o dest=ML:lp -v /
dev/null
```

「:」に続く「lp」が論理プリンタになります。

❺ プリントキューを有効にします。

```
#/usr/sbin/accept ML_lp
#/usr/bin/enable ML_lp
```

❻ 印刷します。

```
# lp -d ML_lp 〈ファイル名〉
```

バナーページが不要な場合は以下のコマンドを使用します。

```
# lp -d ML_lp -o nobanner
```

❼ 印刷要求を取り消します。

```
# cancel ML_lp-〈ジョブ番号〉
```

❽ プリンタの状態を確認します。

```
# lpstat -p ML_lp
```

UNIXの仕様により正常に表示できない場合があります。

Sun Solaris2.3X～2.5Xの場合

- **スーパーバイザーの権限が必要です。**
- **Sun Solaris2.4 を例にしています。**
- **OpenWindows上よりAdmintoolを使ってリモートプリンタを登録する方法は、出力先とキューの名称が同一になるため本イーサネットボードでは利用できません。リモートプリンタの登録は以下の方法で行ってください。**
- **Solaris 2.x はシステムの仕様上、リモートプリンタとの接続が長時間滞った場合にエラーとみなし、強制切断するようになっています。従って、印刷中に用紙切れやオフラインなどのエラーによって待ち時間が発生した場合には印刷が打ち切られてしまいます。**

❶ UNIX にルートでログインします。

❷ /etc/hosts ファイルにイーサネットボードの IP アドレスとホスト名を登録します。

```
192.168.0.2 ML
```

❸ ping コマンドで接続を確認します。

```
# ping ML
```

❹ プリントスケジューラを停止します。

```
# /usr/sbin/lpshut
```

❺ プリントサーバを登録します。

```
# /usr/sbin/lpsystem -R0 -t bsd ML
```

❻ プリントキューを設定します。

```
# /usr/sbin/lpadmin -p ML_lp -s ML!lp
```

- **csh をご使用の場合は、「!」の代わりに「\!」または「¥!」としてください。**
- **「!」に続く「lp」が論理プリンタになります。**

❼ プリントスケジューラを起動します。

```
#/usr/bin/sh /etc/init.d/lp start
```

❽ プリントキューを有効にします。

```
#/usr/sbin/accept ML_lp
#/usr/bin/enable ML_lp
```

❾ 印刷します。

```
# lp -d ML_lp〈ファイル名〉
```

❿ 印刷要求を取り消します。

```
# cancel ML_lp-〈ジョブ番号〉
```

⓫ プリンタの状態を確認します。

```
# lpstat -p ML_lp
```

UNIXの仕様により正常に表示できない場合があります。

HP-UX9.Xおよび10.Xの場合

注
- **スーパーバイザーの権限が必要です。**
- **HP-UX9.03 を例にしています。**

❶ UNIX にルートでログインします。

❷ /etc/hosts ファイルにイーサネットボードのIP アドレスとホスト名を登録します。

```
192.168.0.2 ML
```

❸ ping コマンドで接続を確認します。

```
# ping ML
```

❹ 使用しているHP-UXマシンに、リモートスプーラが設定されていないときは以下の設定を行ってください。

① プリンタスプーラを停止します。

```
#/usr/lib/lpshut
```

② /etc/inetd.conf ファイルに以下の行を追加し、リモートスプーラを登録します。

```
printer stream tcp nowait root
/usr/lib/rlpdaemon -i
```

③ inetd を再起動します。

```
#/etc/inetd -c
```

❺ プリントキューを設定します。

```
#/usr/lib/lpadmin -pML_lp -mrmodel
-ormML -orplp -ocmrcmodel -
osmrsmodel -ob3 -v/dev/null
```

注 **「-p」に続く「ML_lp」がプリントキュー名、「-orm」に続く「ML」がホスト名、「-orp」に続く「lp」が論理プリンタ名になります。**

❻ プリントキューを有効にします。

```
#/usr/lib/accept ML_lp
#/usr/bin/enable ML_lp
```

❼ プリンタスプーラを起動します。

```
#/usr/lib/lpsched
```

❽ 印刷します。

```
# lp -d ML_lp 〈ファイル名〉
```

❾ 印刷要求を取り消します。

```
# cancel ML_lp-〈ジョブ番号〉
```

❿ プリンタの状態を確認します。

```
# lpstat -p ML_lp
```

UNIXの仕様により正常に表示できない場合があります。

AIX4.1.5および4.3.3の場合

注 ・スーパーバイザーの権限が必要です。

❶ UNIXにルートでログインします。

❷ /etc/hostsファイルにイーサネットボードのIPアドレスとホスト名を登録します。

```
192.168.0.2 ML
```

❸ pingコマンドを使って、イーサネットボードとの接続を確認します。

```
# ping ML
```

❹ プリントサーバを登録します。

```
# ruser -a -p ML
```

❺ リモートプリンタデーモンを起動します。

```
# startsrc -s lpd
# mkitab 'lpd:2:once:startsrc -s lpd'
```

❻ smitコマンドを利用してプリントキューの追加を行います。

① smitコマンドを起動し、「印刷待ち行列の追加」の項目へ移行します。

```
# smit mkrque
```

② 「接続タイプ」から「remote」（リモートホストに接続されたプリンタ）を選択します。

③ 「リモート印刷のタイプ」から「標準処理」を選択します。

④ 「標準リモート印刷待ち行列の追加」で以下の項目を設定します（下記以外の設定はご利用環境に応じて変更してください）。

追加する待ち行列　［ML_lp］
リモートサーバのホスト名　［ML］
リモートサーバ上の待ち行列名　［lp］
リモートサーバ上の
　印刷スプーラのタイプ　［BSD］
リモートサーバ上のプリンタ名記述
　［任意のコメント］

注 **「リモートサーバ上の待ち行列名」が論理プリンタになります。**

❼ 印刷します。

```
# lp -d ML_lp 〈ファイル名〉
```

❽ 印刷要求を取り消します。

```
# cancel ML_lp-〈ジョブ番号〉
```

❾ プリンタの状態を確認します。

```
# lpstat -p ML_lp
```

注 **UNIXの仕様により正常に表示できない場合があります。**

FTP プロトコルを利用します

TCP/IP の FTP プロトコル（ftp コマンド）を使用して印刷する方法を説明します。ftp コマンドの詳細は UNIX のマニュアルをご覧ください。

FTP について

FTP（File Transfer Protocol）はネットワーク上のホストにファイルを転送するためのプロトコルです。

論理ディレクトリについて

本イーサネットボードには 3 つの論理ディレクトリがあります。

論理ディレクトリ	機　能
/lp	プリンタドライバを使用したファイルを印刷する場合
/sjis	シフト JIS 漢字コードのファイルを印刷する場合
/euc	euc 漢字コードのファイルを印刷する場合

注 **sjis, euc はポストスクリプトプリンタのみの機能です。**

イーサネットボードを設定します

telnet を使用します。

以下の環境を例にしています。

UNIX	: Sun Solaris 2.4
IP アドレス	: 192.168.0.2
イーサネットアドレス	: 00:80:92:00:13:46

❶ UNIX にルートでログインします。

❷ arpコマンドでイーサネットボードに一時的な IP アドレスを設定します。

```
# arp -s 192.168.0.2
00:80:92:00:13:46 temp
```

注 **イーサネットアドレスは自己診断テストに表示されています。**

❸ ping コマンドで接続を確認します。

```
# ping 192.168.0.2
```

❹ telnetでイーサネットボードにログインします。

注 **「login」名は「root」、「password」は「なし」（初期値）です。**

```
telnet  192.168.0.2
Trying 192.168.0.2 ...
Connected to 192.168.0.2
Escape character is '^]'.
EthernetBoard MLETB09 Ver 1.0.0 TELNET
server.
login: root
'root' user needs password to login.
password:
User 'root' logged in.
No. Message    Value    (level.1)
--------------------------------------
 1 : Setup TCP/IP
 2 : Setup SNMP
 3 : Setup NetWare
 4 : Setup EtherTalk
 5 : Setup NetBEUI
 6 : Setup printer port
 7 : Display status
 8 : Setup printer trap
 9 : Setup SMTP(E-Mail)
97 : Reset to factory set
98 : Quit setup
99 : Exit setup
Please select(1-99)?
```

❺「1」を入力し、「Enterキー」を押し、次のように設定します。

```
Please select(1-99)? _1
No. Message    Value
--------------------------------------
 1 : TCP/IP protocol  : ENABLE
 2 : IP address       : 192.168.0.2
 3 : Subnet mask      : 255.255.255.0
 4 : Gateway address  : 0.0.0.0
 5 : RARP protocol    : DISABLE
 6 : DHCP/BOOTP protocol : DISABLE
 7 : DNS server(Pri.) : 0.0.0.0
 8 : DNS server(Sec.) : 0.0.0.0
 9 : root password    : " "
99 : Back to prior menu
Please select(1-99)?
```

❻ ログアウトします。

❼ 新しい設定を有効にするために、プリンタの電源を OFF/ON します。

注 **プリンタの電源を OFF/ON するまでは、イーサネットボードは送信前の設定値で動作しています。必ずプリンタの電源を OFF/ON してください。**

印刷します

❶ イーサネットボードにログインします。

「Name」と「Password」にどのような値を入力しても印刷可能です。ただし、「Name」が「root」の場合は「password」が必要となります。初期値は「なし」です。

```
#ftp ML (または、ftp 192.168.0.2)
Connected to ML
220 EthernetBoard MLETB09 Ver 1.0.0 FTP
Server
Name (ML:root):root
331 Password required.
Password:
230 user Logged in.
ftp>
```

❷ 転送先ディレクトリへ移動します。

ルートディレクトリへのファイル転送はできません。

```
ftp>cd /lp
250 Command OK.
ftp>pwd
257"/lp" is current directory.
ftp>
```

❸ 転送モードを設定します。

転送モードには、ファイルの内容をそのまま出力する「BINARYモード」と、LFコードをCR+LFコードに変換する「ASCIIモード」の2種類があります。プリンタドライバで作成したファイルを転送する場合は、「BINARYモード」を使用します。

```
ftp> type binary
200 Type set to I.
ftp> type
Using binary mode to transfer files.
ftp>
```

❹ 印刷します。

例 1) 印刷データ「test.prn」を転送する場合

```
ftp> put test.prn
```

例 2) 印刷データを絶対パス「/users/test/test.prn」付きで指定して転送する場合

```
ftp> put /users/test/test.prn
```

❺ ログアウトします。

```
ftp> quit
```

quoteコマンドの「stat」を使って、クライアントのIPアドレス、ログインユーザ名、転送モードの3つの状態を確認することができます。また、statの後に論理ディレクトリ(lp, sjis, euc)を指定すると、プリンタの状態を確認することができます。

```
ftp> quote stat
211-FTP server status:
Connected to: 192,168,0,1,4,27
User logged in: root
Transfer type: BINARY
Data connection: Closed.
211 End of status.
ftp>

ftp> quote stat /lp
211-FTP directory status:
Ready
211 End of status.
ftp>
```

8 NetWareをセットアップします

NetWare のプリントシステム

ノベル社の NetWare5J、NetWare4.1J および NetWare3.12J ネットワーク環境を利用して印刷するために必要な NetWare サーバとイーサネットボードの設定を行います。

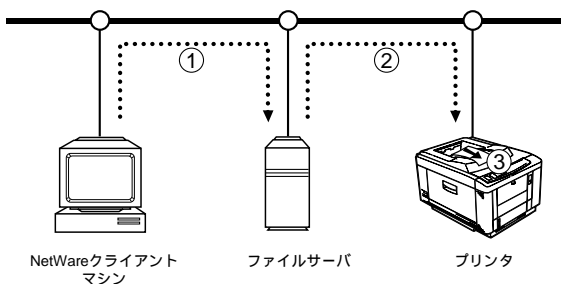
NetWare のネットワークには NDS ネットワークとバインダリネットワークがあります。イーサネットボードのプリントシステムにはプリントサーバモードとリモートプリンタモードがあります。本イーサネットボードで使用できる環境は次のとおりです。

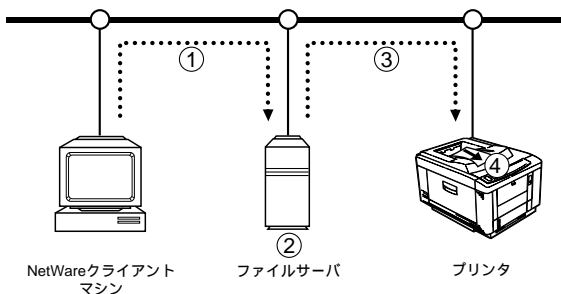
○：使用できます
×：使用できません

		イーサネットボード	
		プリントサーバモード	リモートプリンタモード
NDSネットワーク	NetWare3.12J		
	NetWare4.1J	○	○
	NetWare5J	○	○
バインダリネットワーク	NetWare3.12J	○	○
	NetWare4.1J	○	×
	NetWare5J	○	×

NetWare5J の NDPS 機能には対応していません。NetWare5J 付属の Novell プリントゲートウェイをお使いください。

プリントサーバモード

①ファイルサーバ上のプリントキューにジョブが記憶されると、②プリントサーバとなったプリンタが、直接プリントキューへアクセスして、ジョブを取り出し、③印刷処理を実行します。
プリンタがプリントサーバの役目をするため、他のプリントサーバ（ファイルサーバ上やプリントサーバ専用のワークステーション）を必要としません。

リモートプリンタモード

①ファイルサーバ上のプリントキューにジョブが記憶されると、②プリントサーバ（ファイルサーバ上、またはプリントサーバ専用ワークステーション）がジョブを取り出し、③プリントキューに割り当てられたプリンタにジョブを転送し、④印刷処理を実行します。
通常の NetWare のプリント機能（PSERVER.NLM/EXE）を利用するモードです。既存のプリントサーバが利用できます。

NetWare5J/4.1J（NDS）プリントサーバモード

- **コンピュータはNovell Clientがインストールされている必要があります。**
- **ネットワークの管理者の権限が必要です。**

以下のNetWare5J環境を例にしています。

NetWare側

NDSツリー名	：ODCSOFT5
NDSコンテキスト名	：SOFT25.ENG5
ファイルサーバ名	：SOFT22-NW5

イーサネットボード側

プリントサーバ名	：SOFT22-PS
プリントキュー名	：SOFT22-Q

イーサネットボードを設定します

Standard Setup(AdminManager)を使います。

❶ プリンタの電源がONになっていることを確認します。

❷ イーサネットボード付属の「ネットワークソフトウェアCD-ROM」をセットします。

Setup Utilityが自動的に起動します。

注 **自動的に起動しない場合は、CD-ROMの［Windows］フォルダの中の［Autorun.exe］をダブルクリックしてください。**

❸ 日本語をクリックします。

❹［OKI Device Standard Setup］をクリックします。

❺［インストールせずに、直接CD-ROMから起動する］を選択し、［次へ］をクリックします。

❻ 使用許諾契約に同意する場合は［はい］をクリックします。

AdminManagerが起動します。

❼ 一覧より、イーサネットアドレスを参照して、設定を行うイーサネットボードを選択します。

イーサネットアドレスは自己診断テストに表示されています。

❽ [設定] メニューの [OKI Deviceの設定] を選択します。

- **NetWare ファイルサーバが多数あると、一覧に表示されないことがあります。このような場合は検索するネットワークを指定してください。**
- **[オプション] メニューの [環境設定] を選択し、[NetWare] タブをクリックします。**
- **[検索するネットワークを指定する] を選択し、イーサネットボードが存在する NetWare ネットワークアドレスを入力し、[登録] をクリックします。**
- **[ファイル] メニューの [検索] をクリックします。**

❾ [NetWare] タブをクリックし、各項目を入力し、[設定] をクリックします。

① 「NetWare プロトコルを使用する」にチェックを付けます。

② 「プリントサーバ名」(ここでは「SOFT22-PS」)を入力します。

③ 「プリントサーバ」にチェックを付けます。

「フレームタイプ」、「プリンタ名」を設定する必要はありません。

❿ 設定に間違いがなければ、[OK] をクリックします。

設定値がイーサネットボードに送信されます。

この時点では、イーサネットボードは送信前の設定値で動作しています。

⓫ 設定値を有効にするため、[はい] をクリックします。

NetWare ファイルサーバを設定します

Standard Setup（AdminManager）が起動した状態から説明します。

❶ 一覧より、イーサネットアドレスを参照して、設定を行うイーサネットボードを選択し、［設定］メニューの［NetWareのキュー作成］を選択します。

❷［次へ］をクリックします。

❸［NDS モード］を選択し、［次へ］をクリックします。

❹ プリントサーバを作成する［コンテキスト］（ここではNDSツリー「ODCSOFT5」、NDSコンテキスト「SOFT25.ENG75」）を選択し、［次へ］をクリックします。

❺［プリントサーバモード］を選択し、［次へ］をクリックします。

❻［プリントキュー名］（ここでは「SOFT22-Q」）を入力し、［次へ］をクリックします。キューを新規に作成する場合は、作成する場所を指定します。

❼ 設定に間違いがなければ、［実行］をクリックします。

メモ **プリンタポート名は、自動的に「プリントサーバ名」+「-prn1」になります。**

❽［完了］をクリックします。

❾ プリンタの電源を OFF/ON します。

プリンタソフトウェアをセットアップします

❶ 一旦「通常使うローカルプリンタ(LPT1:)」としてプリンタドライバをセットアップします。

プリンタドライバのセットアップ方法は、プリンタのユーザーズマニュアルをご覧ください。

❷［スタート］-［設定］-［プリンタ］を選択します。

❸ 手順❶で追加したプリンタを右ボタンでクリックし、［プロパティ］を選択します。

❹［詳細］タブの［ポートの追加］をクリックします。

❺［ネットワーク］を選択し、［参照］をクリックします。

❻ 作成したプリントキュー名（ここでは「SOFT22-Q」）を選択し、［OK］をクリックします。

❼［プリンタへのネットワークパス］が指定されたことを確認し、[OK]をクリックします。

❽ プロパティを閉じます。

セットアップは終了です。

NetWare5J/4.1J（NDS）リモートプリンタモード

- **コンピュータに Novell Client がインストールされている必要があります。**
- **ネットワークの管理者の権限が必要です。**

以下の NetWare5J 環境を例にしています。

NetWare 側

NDS ツリー名	：ODCSOFT5
NDS コンテキスト名	：SOFT25.ENG5
ファイルサーバ名	：SOFT22-NW5
プリントサーバ名	：SOFT22-PS
プリントキュー名	：SOFT22-Q

イーサネットボードを設定します

Standard Setup(AdminManager)を使います。

❶ プリンタの電源が ON になっていることを確認します。

❷ イーサネットボード付属の「ネットワークソフトウェア CD-ROM」をセットします。

Setup Utility が自動的に起動します。

自動的に起動しない場合は、CD-ROM の［Windows］フォルダの中の［Autorun.exe］をダブルクリックしてください。

❸ 日本語をクリックします。

❹［OKI Device Standard Setup］をクリックします。

❺［インストールせずに、直接CD-ROMから起動する］を選択し、［次へ］をクリックします。

❻ 使用許諾契約に同意する場合は［はい］をクリックします。

AdminManager が起動します。

❼ 一覧より、イーサネットアドレスを参照して、設定を行うイーサネットボードを選択します。

注 **イーサネットアドレスは、自己診断テストに表示されています。**

❽ [設定]メニューの[OKI Deviceの設定]を選択します。

注
- **NetWare ファイルサーバが多数あると、一覧に表示されないことがあります。このような場合は検索するネットワークを指定してください。**
- **[オプション] メニューの [環境設定] を選択し、[NetWare] タブをクリックします。**
- **[検索するネットワークを指定する] を選択し、イーサネットボードが存在する NetWare ネットワークアドレスを入力し、[登録] をクリックします。**
- **[ファイル] メニューの [検索] をクリックします。**

❾ [NetWare] タブをクリックし、各項目を入力し、[設定] をクリックします。

① 「NetWare プロトコルを使用する」にチェックを付けます。

② プリントサーバ名（任意の名前、ここでは「KEIRI」）を入力します。

③ 「リモートプリンタ」にチェックを付けます。

注
- **「プリントサーバ名」はリモートプリンタモードでは使用しません。**
- **「フレームタイプ」、「プリンタ名」を設定する必要はありません。**

❿ 設定に間違いがなければ、[OK] をクリックします。

設定値がイーサネットボードに送信されます。

注 **この時点では、イーサネットボードは送信前の設定値で動作しています。**

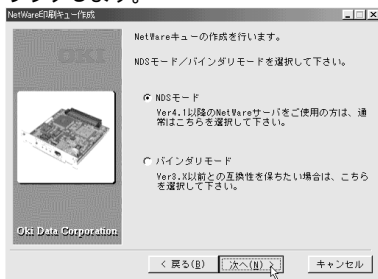
⓫ 設定値を有効にするため、[はい] をクリックします。

NetWare ファイルサーバを設定します

Standard Setup（AdminManager）が起動した状態から説明します。

❶ 一覧より、イーサネットアドレスを参照して、設定を行うイーサネットボードを選択し、[設定] メニューの [NetWareのキュー作成] を選択します。

❷ [次へ] をクリックします。

❸ [NDS モード] を選択し、[次へ] をクリックします。

❹ プリントサーバを作成する [コンテキスト]（ここではNDSツリー「ODCSOFT5」、NDSコンテキスト「SOFT25.ENG75」）を選択し、[次へ] をクリックします。

❺ [リモートプリンタモード] を選択し、[次へ] をクリックします。

❻ [プリントサーバ名]（ここでは「SOFT22-PS」）を入力し、[次へ] をクリックします。

既存のプリントサーバを選択することも可能です。

❼ [プリントキュー名]（ここでは「SOFT22-Q」）を入力し、[次へ] をクリックします。

既存のキューを選択することも可能です。

❽ 設定に間違いがなければ、［実行］をクリックします。

メモ **プリンタポート名は、自動的に「プリントサーバ名」+「-prn1」になります。**

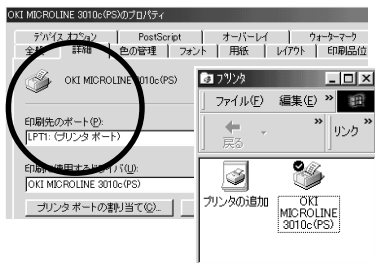
❾ ［完了］をクリックします。

❿ NetWareのファイルサーバのコンソールからプリントサーバを起動します。

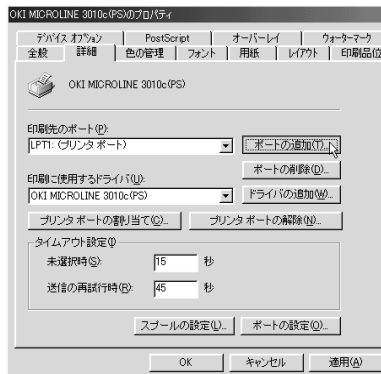
⓫ プリンタの電源をOFF/ONします。

プリンタソフトウェアをセットアップします

❶ 一旦「通常使うローカルプリンタ（LPT1：）」としてプリンタドライバをセットアップします。

プリンタドライバのセットアップ方法は、プリンタのユーザーズマニュアルをご覧ください。

❷ ［スタート］-［設定］-［プリンタ］を選択します。

❸ 手順❶で追加したプリンタを右ボタンでクリックし、［プロパティ］を選択します。

❹ ［詳細］タブの［ポートの追加］をクリックします。

❺ ［ネットワーク］を選択し、［参照］をクリックします。

❻ 作成したプリントキュー名（ここでは「SOFT22-Q」）を選択し、［OK］をクリックします。

❼ ［プリンタへのネットワークパス］が指定されたことを確認し、[OK]をクリックします。

❽ プロパティを閉じます。

セットアップは終了です。

NetWare5J/4.1J（ﾊﾞｲﾝﾀﾞﾘ）プリントサーバモード

・バインダリサービスを利用するためには、ファイルサーバにバインダリコンテキストの指定が行われている必要があります。あらかじめ、サーバコンソールより次の設定を行ってください。

バインダリコンテキスト「OU=SOFT25.O=ENG75」の場合

```
set Bindery Context = OU=SOFT25.O=ENG75
```

・コンピュータにはNovell Clientがインストールされている必要があります。
・ネットワークの管理者の権限が必要です。

以下のNetWare5J環境を例にしています。

NetWare側
　ファイルサーバ名　　：SOFT22-NW5

イーサネットボード側
　プリントサーバ名　　：SOFT22-PS
　プリントキュー名　　：SOFT22-Q

イーサネットボードを設定します

Standard Setup(AdminManager)を使います。

❶ プリンタの電源がONになっていることを確認します。

❷ イーサネットボード付属の「ネットワークソフトウェアCD-ROM」をセットします。

Setup Utilityが自動的に起動します。

自動的に起動しない場合は、CD-ROMの［Windows］フォルダの中の［Autorun.exe］をダブルクリックしてください。

❸ 日本語をクリックします。

❹［OKI Device Standard Setup］をクリックします。

❺［インストールせずに、直接CD-ROMから起動する］を選択し、［次へ］をクリックします。

❻ 使用許諾契約に同意する場合は［はい］をクリックします。

AdminManagerが起動します。

❼ 一覧より、イーサネットアドレスを参照して、設定を行うイーサネットボードを選択します。

注 **イーサネットアドレスは、自己診断テストに表示されています。**

❽ [設定]メニューの[OKI Deviceの設定]を選択します。

注
- **NetWare ファイルサーバが多数あると、一覧に表示されないことがあります。このような場合は検索するネットワークを指定してください。**
- **[オプション] メニューの [環境設定] を選択し、[NetWare] タブをクリックします。**
- **[検索するネットワークを指定する] を選択し、イーサネットボードが存在する NetWare ネットワークアドレスを入力し、[登録] をクリックします。**
- **[ファイル] メニューの [検索] をクリックします。**

❾ [NetWare] タブをクリックし、各項目を入力し、[設定] をクリックします。

① 「NetWare プロトコルを使用する」にチェックを付けます。

② 「プリントサーバ名」(ここでは「SOFT22-PS」)を入力します。

③ 「プリントサーバ」にチェックを付けます。

注 **「フレームタイプ」、「プリンタ名」を設定する必要はありません。**

❿ 設定に間違いがなければ、[OK] をクリックします。

設定値がイーサネットボードに送信されます。

注 **この時点では、イーサネットボードは送信前の設定値で動作しています。**

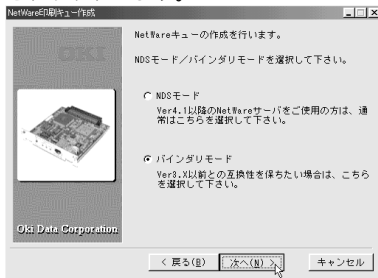
⓫ 設定値を有効にするため、[はい] をクリックします。

NetWare ファイルサーバを設定します

Standard Setup（AdminManager）が起動した状態から説明します。

❶ 一覧より、イーサネットアドレスを参照して、設定を行うイーサネットボードを選択し、[設定] メニューの [NetWareのキュー作成] を選択します。

❷ [次へ] をクリックします。

❸ [バインダリモード] を選択し、[次へ] をクリックします。

❹ プリントサーバを作成する［ファイルサーバ］（ここでは「SOFT22-NW5」）を選択し、［次へ］をクリックします。

❺ ［プリントサーバモード］を選択し、［次へ］をクリックします。

注 **バインダリネットワークでは、リモートプリンタモードを選択できません。**

❻ ［プリントキュー名］（ここでは「SOFT22-Q」）を入力し、［次へ］をクリックします。既存のキューを選択することも可能です。

❼ 設定に間違いがなければ、［実行］をクリックします。

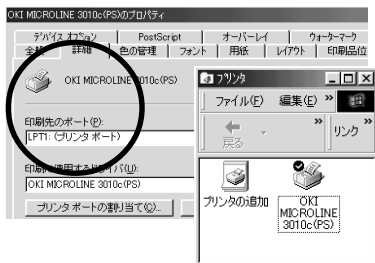
メモ **プリンタポート名は、自動的に「プリントサーバ名」+「-prn1」になります。**

❽ ［完了］をクリックします。

❾ プリンタの電源を OFF/ON します。

プリンタソフトウェアをセットアップします

❶ 一旦「通常使うローカルプリンタ(LPT1:)」としてプリンタドライバをセットアップします。

プリンタドライバのセットアップ方法は、プリンタのユーザーズマニュアルをご覧ください。

❷ [スタート] - [設定] - [プリンタ] を選択します。

❸ 手順❶で追加したプリンタを右ボタンでクリックし、[プロパティ] を選択します。

❹ [詳細] タブの [ポートの追加] をクリックします。

❺ [ネットワーク] を選択し、[参照] をクリックします。

❻ 作成したプリントキュー名(ここでは「SOFT22-Q」)を選択し、[OK] をクリックします。

❼ [プリンタへのネットワークパス] が指定されたことを確認し、[OK]をクリックします。

❽ プロパティを閉じます。

セットアップは終了です。

NetWare3.12J

- **コンピュータに Novell Client がインストールされている必要があります。**
- **ネットワークの管理者の権限が必要です。**
- **NetWare サーバへログインするためのネットワークドライブ名は F：を例にしています。**

以下の NetWare 環境を例にしています。

ファイルサーバ	：SOFT22-NW312
プリントサーバ	：SOFT22-PS
プリントキュー	：SOFT22-Q
プリンタ名	：SOFT22-PRN

NetWare ファイルサーバを設定します

PCONSOLEを起動します

❶ クライアントマシンからスーパーバイザで、ファイルサーバにログインします。

F:\>LOGIN SOFT22-NW312/supervisor

❷ PCONSOLE を起動します。

F:\>pconsole

［利用可能な項目］が表示されます。

```
利用可能な項目
ﾌｧｲﾙｻｰﾊﾞ の変更
ﾌﾟﾘﾝﾄｷｭｰ情報
ﾌﾟﾘﾝﾄｻｰﾊﾞ 情報
```

プリントキューを作成します

❸［プリントキュー情報］を選択し、Enter キーを押します。

```
利用可能な項目
ﾌｧｲﾙｻｰﾊﾞ の変更
ﾌﾟﾘﾝﾄｷｭｰ情報
ﾌﾟﾘﾝﾄｻｰﾊﾞ 情報
```

❹ Ins キーを押して、新しく作成するプリントキュー名（ここでは「SOFT22-Q」）を入力し、Enter キーを押します。

```
新ﾌﾟﾘﾝﾄｷｭｰ名：SOFT22-Q
```

プリントキューが作成されます。

```
ﾌﾟﾘﾝﾄｷｭｰ
SOFT22-Q
```

プリントサーバを作成します

既存のプリントサーバを利用する場合は、以下の設定を行う必要はありません。「プリントサーバが管理するプリンタを作成します」へ進みます。

❺ ［プリントサーバ情報］を選択し、Enter キーを押します。

利用可能な項目
ﾌｧｲﾙｻｰﾊﾞの変更
ﾌﾟﾘﾝﾄｷｭｰ情報
ﾌﾟﾘﾝﾄｻｰﾊﾞ情報

❻ Ins キーを押して、新しく作成するプリントサーバ名（ここでは「SOFT22-PS」）を入力し、Enter キーを押します。

新ﾌﾟﾘﾝﾄｻｰﾊﾞ名：SOFT22-PS

プリントサーバが登録されます。

プリントサーバが管理するプリンタを作成します

❼ ［プリントサーバ情報］を選択し、Enter キーを押します。

利用可能な項目
ﾌｧｲﾙｻｰﾊﾞの変更
ﾌﾟﾘﾝﾄｷｭｰ情報
ﾌﾟﾘﾝﾄｻｰﾊﾞ情報

❽ 作成したプリントサーバ（ここでは「SOFT22-PS」）を選択し、Enter キーを押します。

❾ ［プリントサーバ構成］を選択し、Enter キーを押します。

❿ ［プリンタの構成］を選択し、Enter キーを押します。

ﾌﾟﾘﾝﾄｻｰﾊﾞ構成ﾒﾆｭｰ
使用されているﾌｧｲﾙｻｰﾊﾞ
ﾌﾟﾘﾝﾀ通知ﾘｽﾄ
ﾌﾟﾘﾝﾀでｻｰﾋﾞｽされているｷｭｰ
ﾌﾟﾘﾝﾀの構成

⑪ 他のプリンタがインストールされていないプリンタ番号（ここでは［インストールされていません　0］）を選択し、Enter キーを押します。

構成完了ﾌﾟﾘﾝﾀ

ｲﾝｽﾄｰﾙされていません	**0**
ｲﾝｽﾄｰﾙされていません	1
ｲﾝｽﾄｰﾙされていません	2
ｲﾝｽﾄｰﾙされていません	3
ｲﾝｽﾄｰﾙされていません	4
ｲﾝｽﾄｰﾙされていません	5

⑫ ［名前］の欄に、リモートプリンタの名前（ここでは「SOFT22-PRN」）を入力します。

ﾌﾟﾘﾝﾀ　0　の環境設定

名前： SOFT22-PRN
ﾀｲﾌﾟ：　定義済み

社別識別子：
IRQ：
ﾊﾞｯﾌｧｻｲｽﾞ(Kﾊﾞｲﾄ):

開始用紙：
ｷｭｰｻｰﾋﾞｽﾓｰﾄﾞ：

ﾎﾞｰﾚｰﾄ:
ﾃﾞｰﾀﾋﾞｯﾄ:
ｽﾄｯﾌﾟﾋﾞｯﾄ:
ﾊﾟﾘﾃｨ:
X-On/X-Off 使用有無

⑬ ［タイプ］を選択し、Enter キーを押すと、［プリンタタイプ］が表示されます。

⑭ ［リモートパラレル，LPT1］を選択し、Enter キーを押します。

ﾌﾟﾘﾝﾀﾀｲﾌﾟ

ﾛｰｶﾙﾊﾟﾗﾚﾙ，LPT1
ﾛｰｶﾙﾊﾟﾗﾚﾙ，LPT2
ﾛｰｶﾙﾊﾟﾗﾚﾙ，LPT3
ﾛｰｶﾙｼﾘｱﾙ，COM1
ﾛｰｶﾙｼﾘｱﾙ，COM2
ﾛｰｶﾙｼﾘｱﾙ，COM3
ﾛｰｶﾙｼﾘｱﾙ，COM4
ﾘﾓｰﾄﾊﾟﾗﾚﾙ，LPT1
ﾘﾓｰﾄﾊﾟﾗﾚﾙ，LPT2
ﾘﾓｰﾄﾊﾟﾗﾚﾙ，LPT3

⑮ Esc キーを押し、［変更を保存しますか？］と表示されたら、［Yes］を選択し、Enter キーを押します。

プリンタが作成されます。

構成完了ﾌﾟﾘﾝﾀ

SOFT22-PRN	**0**
ｲﾝｽﾄｰﾙされていません	1
ｲﾝｽﾄｰﾙされていません	2
ｲﾝｽﾄｰﾙされていません	3
ｲﾝｽﾄｰﾙされていません	4
ｲﾝｽﾄｰﾙされていません	5

プリンタにプリントキューを割り当てます

⑯ ［プリンタでサービスされているキュー］を選択し、Enter キーを押します。

ﾌﾟﾘﾝﾄｻｰﾊﾞ 構成ﾒﾆｭｰ
使用されているﾌｧｲﾙｻｰﾊﾞ
ﾌﾟﾘﾝﾀ通知ﾘｽﾄ
ﾌﾟﾘﾝﾀでｻｰﾋﾞｽされているｷｭｰ
ﾌﾟﾘﾝﾀの構成

⑰ ［定義済みのプリンタ］から、プリントキューを割り当てるプリンタ（ここでは「SOFT22-PRN」）を選択し、Enter キーを押します。

定義済みのﾌﾟﾘﾝﾀ	
SOFT22-PRN	**0**

⑱ Ins キーを押して、［使用可能キュー］からプリンタに割り当てるプリントキュー（ここでは「SOFT22-Q」）を選択し、Enter キーを押します。

⑲ プリントキューの優先順位（ここでは「1」）を入力し、Enterキーを押します。

プリントキューと優先順位が割当てられます。

ﾌｧｲﾙｻｰﾊﾞ	ｷｭｰ	優先順位
SE22	**SOFT22-Q**	**1**

⑳ 複数のプリントキューを割り当てる場合は、手順⑱と⑲を繰り返します。

Pconsoleを終了します

㉑ ［終了しますか？ PConsole］が表示されるまで Esc キーを押し、［Yes］を選択します。

イーサネットボードを設定します

プリントサーバモードの場合

❶ イーサネットボードを設定します。

NetWare5J/4.1J（バインダリ）プリントサーバモードの「イーサネットボードを設定します」（99ページ）の手順に従ってください。

リモートプリンタモードの場合

❶ ファイルサーバコンソールでプリントサーバ（ここでは「SOFT22-PS」）を起動します。

：LOAD PSERVER SOFT22-PS

注 **もしプリントサーバが起動している場合は再起動します。**

：UNLOAD PSERVER

:LOAD PSERVER SOFT22-PS

❷ イーサネットボードを設定します。

NetWare5J/4.1J（NDS）リモートプリンタモードの「イーサネットボードを設定します」（94ページ）の手順に従ってください。

プリンタソフトウェアをセットアップします

プリントサーバモードの場合

❶ プリンタソフトウェアをセットアップします

NetWare5J/4.1J（バインダリ）プリントサーバモードの「プリンタソフトウェアをセットアップします」（102ページ）の手順に従ってください。

リモートプリンタモードの場合

❶ プリンタソフトウェアをセットアップします

NetWare5J/4.1J（NDS）リモートプリンタモードの「プリンタソフトウェアをセットアップします」（98ページ）の手順に従ってください。

9 イーサネットボードを管理します

設定項目の一覧

イーサネットボードに設定できる項目を説明します。
現在のイーサネットボードに設定されている値は、自己診断テストで確認できます。
設定値を変更するには、telnet, Webブラウザ, AdminManager(Windows), Setup Utility (Macintosh)を使用します。

注 プリンタによって設定できる項目が異なります。

TCP/IP

網かけ部は初期値です。

項　目			設定値	機能説明
telnet	Webブラウザ	AdminManager Setup Utility		
TCP/IP protocol	TCP/IP	TCP/IPプロトコルを使用する	ENABLE (使用する) DISABLE (使用しない)	イーサネットボードでTCP/IPプロトコルを使用するかどうか設定します。
IP address	IP Address	IPアドレス	0.0.0.0	イーサネットボードのIPアドレスを設定します。設定値は、「***.***.***.***」形式で入力します。RARPやDHCP/BOOTPを利用する場合は、動的設定されますので、IPアドレスを設定する必要はありません。
Subnet mask	Subnet Mask	サブネットマスク	0.0.0.0	イーサネットボードのサブネットマスクを設定します。設定値は、「***.***. ***.***」形式で入力します。ルータやゲートウェイを使用しない場合は初期値で使用します。
Gateway address	Default Gateway	デフォルトゲートウェイ	0.0.0.0	イーサネットボードのゲートウェイアドレスを設定します。設定値は、「***.***.***.***」形式で入力します。ルータやゲートウェイを使用しない場合は初期値で使用します。
RARP protocol	RARP	RARPを使用する	ENABLE (使用する) DISABLE (使用しない)	起動時に、RARPサーバを利用して動的にIPアドレスを取得するかどうか設定します。
DHCP/BOOTP protocol	DHCP/BOOTP	DHCP/BOOTPを使用する	ENABLE (使用する) DISABLE (使用しない)	起動時に、DHCP/BOOTPサーバを利用して動的にIPアドレスを取得するかどうか設定します。直接IPアドレスを設定した場合は自動的に「DISABLE」に変わります。
DNS server(Pri.)	DNS Server Address (Pri.)	DNSサーバプライマリサーバ　*2	0.0.0.0	プライマリDNSサーバのIPアドレスを設定します。SMTP(E-Mail)プロトコルを使用するときに設定してください。「SMTP Server Name」をIPアドレスで設定する場合は、設定する必要はありません。
DNS server(Sec.)	DNS Server Address(Sec.)	DNSサーバセカンダリサーバ　*2	0.0.0.0	セカンダリDNSサーバのIPアドレスを設定します。SMTP(E-Mail)プロトコルを使用するときに設定してください。「SMTP Server Name」をIPアドレスで設定する場合は、設定する必要はありません。
root password	*1	rootパスワード	なし	rootユーザのパスワードを設定します。7桁の英数字です。

*1) Webブラウザでのパスワードの初期値は、「イーサネットアドレスの下6桁」です。
*2) Setup Utilityでは設定できません。

SNMP

網かけ部は初期値です。

項　目			設定値	機能説明
telnet	Webブラウザ	AdminManager Setup Utility		
Authentic community	Authentic Community	認証コミュニティ名	public	認証コミュニティ名を入力します。15文字以内の英数字です。設定内容は「********」で表示されます。
Trap community	Trap Community	Trapコミュニティ名	public	トラップコミュニティ名を入力します。15文字以内の英数字です。
Trap address	TRAP IP Address	Trap通知先アドレス	0.0.0.0	トラップ通知アドレスを設定します。IPアドレスが「0.0.0.0」の場合はTRAPを発行しません。
SysContact	SysContact	SysContact	なし	MIB-IIのSysContact(管理者名)を設定します。255文字以内の文字列です。
SysName	SysName	SysName	なし	MIB-IIのSysName(製品名)を設定します。255文字以内の文字列です。
SysLocation	SysLocation	SysLocation	なし	MIB-IIのSysLocation(設置場所)を設定します。255文字以内の文字列です。
DefaultTTL		DefaultTTL	0秒 ｜ 255秒	IPパケット生存値(TTL値)を設定します。通常は初期設定で使用します。
EnableAuthen Trap	Enable Authen Trap	Enable Authen Trap	1：ENABLE (使用する) 2：DISABLE (使用しない)	認証エラートラップを許可するかどうか入力します。

NetWare

網かけ部は初期値です。

項　目			設定値	機能説明
telnet	Webブラウザ	AdminManager Setup Utility		
NetWare protocol	NetWare	NetWareプロトコルを使用する	ENABLE (使用する) DISABLE (使用しない)	NetWare(IPX/SPXプロトコル)を使用するかどうか設定します。
Packet type	Frame Type	フレームタイプ	AUTO ETHER-II (ETHERNET-II) 802.2(IEEE802.2) 802.3(IEEE802.3) SNAP(SNAP)	NetWareで使用するパケットの優先フレームタイプを設定します。 初期設定では自動でパケットタイプを切り替えます。接続できない場合は、サーバと同じフレームタイプを指定します。
NetWare mode	Netware Mode	動作モード	RPRINTER (リモートプリンタ) PSERVER (プリントサーバ)	イーサネットボードの動作モードをプリントサーバモードかリモートプリンタモードにするか設定します。

プリントサーバ

網かけ部は初期値です。

項目			設定値	機能説明
telnet	Webブラウザ	AdminManager Setup Utility		
FSERVER name1-8	File Server Names	ファイルサーバ	なし	ファイルサーバの名前を設定します。最大8台のファイルサーバを指定できます。47文字以内の英数字です。
Machine name	NetWare Print Server Name	プリントサーバ名	「ML」+「イーサネットアドレス下6桁」	プリントサーバ名を設定します。ファイルサーバの「プリントサーバ名」と同じにしてください。31文字以内の英数字です。 リモートプリンタモードでは利用しません。
Password	Password	ログインパスワード	なし	ファイルサーバにログインするためのパスワードを設定します。ファイルサーバと同じにしてください。31文字以内の英数字です。
Job polling interval	Job Polling Rate	ジョブポーリング間隔	2秒 ｜ 4秒 ｜ 255秒	Jobの状態を調べる間隔を設定します。 通常は初期設定で使用します。設定値が小さすぎるとネットワークに負荷をかけ、大きすぎると印刷のレスポンスが悪くなります。
Bindery mode	Bindery Mode	バインダリ設定	ENABLE (使用する) DISABLE (使用しない)	バインダリモードを使用するかどうか設定します。NW5.0/4.1JバインダリネットワークおよびNW3.12Jで接続する場合は「ENABLE」にします。NW5.0/4.1JのNDSネットワークのみで接続する場合は「DISABLE」にします。
NDS tree	Tree Name	NDSツリー名	なし	NDSのツリー名を設定します。プリントサーバを登録したファイルサーバが属するツリー名を指定してください。31文字以内の英数字です。
NDS context	Context	NDSコンテキスト	なし	NDSのコンテキスト名を設定します。プリントサーバを作成したコンテキスト名を指定してください。77文字以内の英数字です。

リモートプリンタ

網かけ部は初期値です。

項目			設定値	機能説明
telnet	Webブラウザ	AdminManager Setup Utility		
PSERVER name1-8	NetWare Print Server Names	プリントサーバ	なし	接続するプリントサーバ名を設定します。最大8台のプリントサーバを指定できます。47文字以内の英数字です。
Job timeout	Job Timeout	ジョブタイムアウト	4秒 ｜ 10秒 ｜ 255秒	最後の印刷ジョブパケットを受け取ってからイーサネットボードのポートを解放するまでの時間を設定します。 通常は初期設定で使用します。設定値が小さすぎると、パケットが遅れた場合などに印刷が途切れたりします。大きすぎると、他のプロトコルのジョブに影響を与えます。

EtherTalk *3

網かけ部は初期値です。

項　目			設定値	機能説明
telnet	Webブラウザ	AdminManager Setup Utility		
EtherTalk protocol	EtherTalk	EtherTalkプロトコルを使用する	ENABLE (使用する) DISABLE (使用しない)	EtherTalkプロトコルを使用するかどうか設定します。
Zone name	EtherTalk Zone Name	ゾーン名	なし	EtherTalkゾーン名を設定します。32文字以内の英数字です。

*3) EtherTalkプロトコルはPostScriptエミュレーションを持たないプリンタでは使用できません。

NetBEUI

網かけ部は初期値です。

項　目			設定値	機能説明
telnet	Webブラウザ	AdminManager Setup Utility		
NetBEUI protocol	NetBEUI	NetBEUIプロトコルを使用する	ENABLE (使用する) DISABLE (使用しない)	NetBEUIプロトコルを使用するかどうか設定します。
Computer name	Computer Name	コンピュータ名	「ML」+「イーサネットアドレス下6桁」	コンピュータ名を設定します。15文字以内の英数字です。
Workgroup name	Workgroup Name	ワークグループ	PrintServer	ワークグループ名を設定します。15文字以内の英数字です。
Comment	Comment	コメント	EthernetBoard MLETB09A	コメントを設定します。48文字以内の英数字です。

- 本イーサネットボードのMaster Browser機能は、Workgroup名が「Print Server」の場合にのみ起動します。Master Browser機能は同一Workgroup内に存在するマシンの情報を管理し、他のWorkgroupからの一覧要求に応答する機能です。
- 本イーサネットボードのMaster Browser機能は、本イーサネットボード以外の管理はできません。他のWorkgroupに「PrintServer」の名前をつけると、本イーサネットボードがネットワークで見えなくなることがあります。
- 本イーサネットボードのMaster Browser機能で管理できるイーサネットボードは最大8台です。
- NetBEUIプロトコルでは、他のユーザ（他のプロトコルを含む）からのジョブの印刷中はエラーメッセージが表示され、印刷できません。

printer port

網かけ部は初期値です。

項　目			設定値	機能説明
telnet	Webブラウザ	AdminManager Setup Utility		
NetWare port name	Netware Printer Name *4	プリンタ名 *4	「ML」+「イーサネットアドレス下6桁」+「-pm1」	プリンタ名を設定します。サーバの「プリンタ名」と同じにしてください。31文字以内の英数字です。
EtherTalk port name	EtherTalk Printer Name *5	プリンタ名 *5	「MICROLINE」+「製品名」	プリンタ名を設定します。32文字の英数字です。*3
BOJ string *6			なし	直接出力ポート(lpポート)に出力する前に、プリンタに文字列を送出します。 印刷前に制御コード等を送信する必要がある場合などに設定します。31文字以内の文字列です。また、文字列以外に次の特殊コードも指定できます。 ¥b:　バックスペースコード(0x08) ¥t:　タブコード(0x09) ¥n:　改行コード(0x0a) ¥v:　垂直タブコード(0x0b) ¥f:　改頁コード(0x0c) ¥r:　復帰コード(0x0d) ¥xnn　nnで表現される16進コード ¥" "　コード(0x22) ¥¥ ¥　コード(0x5c)
EOJ string *6			なし	直接出力ポート(lpポート)に出力した後に、プリンタに文字列を送出します。 印字後に制御コード等を送信する必要がある場合などに設定します。31文字以内の文字列です。また、文字列以外に特殊コードも指定できます。特殊コードは「BOJ string」と同じです。
BOJ string (KANJI) *6			なし	漢字フィルタ経由出力ポート(euc，sjisポート)に出力する前に、プリンタに文字列を送出します。印刷前に制御コード等を送信する必要がある場合などに設定します。31文字以内の文字列です。また、文字列以外に特殊コードも指定できます。特殊コードは「BOJ string」と同じです。
EOJ string (KANJI) *6			¥x04	漢字フィルタ経由出力ポート(euc，sjisポート)に出力した後に、プリンタに文字列を送出します。印字後に制御コード等を送信する必要がある場合などに設定します。31文字以内の文字列です。また、文字列以外に特殊コードも指定できます。特殊コードは「BOJ string」と同じです。
Printer type *6			PS(PostScript)固定	漢字フィルタのプリンタTypeを設定します。

網かけ部は初期値です。

項目			設定値	機能説明
telnet	Webブラウザ	AdminManager Setup Utility		
TAB size (char.) *6			0 | 8 | 16	漢字フィルタ経由で出力するときに、タブコード(0x09)を半角スペース(0x20)に変換する文字数を設定します。この文字幅を0にすると、タブ変換処理は行われません。
Page width (char.) *6			0 | 78 | 255	漢字フィルタ経由で出力するときのページ幅を設定します。
Page length (line) *6			0 | 66 | 255	漢字フィルタ経由で出力するときのページ長を設定します。
lpr/ftp banner		FTP/LPDバナーを使用する *7	YES (使用する) NO (使用しない)	LPRやFTPで印字する場合にバナーページを使用するかどうか設定します。TCP/IPプロトコルのみ有効です。

*3) EtherTalk プロトコルは PostScript エミュレーションを持たないプリンタでは使用できません。

*4) Webブラウザでは「NetWare Settings」項目に、AdminManagerでは「NetWareタブ」に、Setup Utility では「NetWare」に表示されます。

*5) Web ブラウザでは「EtherTalk Settings」項目に、AdminManager では「EtherTalk タブ」に、Setup Utility では「EtherTalk」に表示されます。

*6) PostScript プリンタのみ設定できます。

*7) AdminManager では「TCP/IP タブ」に、Setup Utility では「TCP/IP」に表示されます。

printer trap

網かけ部は初期値です。

項　目			設定値	機能説明
telnet	Webブラウザ	AdminManager Setup Utility *8		
Prn-Trap community	Printer Trap Community Name	プリンタTrap コミュニティ名	public	プリンタTRAPのコミュニティ名を設定します。31文字以内の英数字です。
TCP #1-5 Trap enable	Trap Enable	Printer Trapを有効にする	ENABLE (使用する) DISABLE (使用しない)	TCP #1-5でプリンタTrapを使用するかどうか設定します。
On-line trap	Online	オンライン	ENABLE (使用する) DISABLE (使用しない)	オンラインTrapを使用するかどうか設定します。
Off-line trap	Offline	オフライン	ENABLE (使用する) DISABLE (使用しない)	オフラインTrapを使用するかどうか設定します。
Paper Out trap	Paper Out	用紙なし	ENABLE (使用する) DISABLE (使用しない)	ペーパーアウトTrapを使用するかどうか設定します。
Paper Jam trap	Paper Jam	用紙ジャム	ENABLE (使用する) DISABLE (使用しない)	ペーパージャムTrapを使用するかどうか設定します。
Cover Open trap	Cover Open	カバーオープン	ENABLE (使用する) DISABLE (使用しない)	カバーオープンTrapを使用するかどうか設定します。
Printer Error trap	Printer Error	プリンタエラー	ENABLE (使用する) DISABLE (使用しない)	プリンタエラーTrapを使用するかどうか設定します。
TCP #1-5 Trap address	Address 1-5	TCP #1-5	0.0.0.0	TCP/IPの場合のTrap送信先アドレスを設定します。設定値は10進数「***.***.***.***」形式で入力します。IPアドレスが0.0.0.0の場合は、Trapを送信しません。アドレスは5か所まで指定できます。
IPX Trap address/net	IPX	IPX	00000000: 000000000000	IPXの場合のTrap送信先アドレスを設定します。設定値は、ネットワークアドレス(8桁)+ノードアドレス(12桁)で入力します。「00000000:000000000000」の場合はトラップを発行しません。アドレスは1か所のみ指定できます。

*8) Setup Utility では設定できません。

SMTP（E-Mail）*9

網かけ部は初期値です。

項　目			設定値	機能説明
telnet	Webブラウザ	AdminManager Setup Utility *10		
SMTP Transmit	SMTP Transmit Protocol	SMTP送信プロトコルを使用する	ENABLE (使用する) DISABLE (使用しない)	SMTP(E-Mail)送信プロトコルを使用するかどうか設定します。
SMTP server name	SMTP Server	SMTPサーバアドレス/サーバ名	なし	SMTPサーバ名を設定します。ドメイン名もしくはIPアドレスを指定してください。ドメイン名を指定する場合は、DNS(Pri)(sec)の設定が必要です。
SMTP port number	SMTP Port Number	SMTPポート番号	25	SMTPのポート番号を設定します。通常は初期設定でご使用ください。
E-Mail address	Printer Email address	E-Mailアドレス	なし	プリンタのE-Mailアドレスを設定します。 (注) イーサネットボードのバージョンにより、設定ができない場合があります。
Reply-To address	Reply-To-Address	返信用アドレス	なし	返信用のアドレスを設定します。通常はネットワーク管理者のメールアドレスを指定してください。
Event to address1-5	Email Address 1-5	送信先アドレス1-5	なし	送信先のアドレスを設定します。 アドレスは5ヶ所まで指定できます。
Signature line1-4	Signature line 1-4	署名	なし	送信メールの文末に付加するコメントを設定します。4行設定できます。1行は64文字まで入力でき、それを越える場合は自動的に改行します。
Re-send Interval	Re-send Interval	チェック間隔	DISABLE 30min 60min 24hour	プリンタの状況をチェックする間隔を設定します。この間隔内に、プリンタイベントが発生した場合、その記録をまとめて送信します。
Off Line	Off Line	オフライン	ENABLE DISABLE	プリンタがオフラインになったときに、メールを送信するかどうか設定します。
Consumable Message	Consumable Message	メンテナンス	ENABLE DISABLE	プリンタの消耗品（ドラムカートリッジ、ベルト、定着器）が寿命になったときに、メールを送信するかどうか設定します。
Toner Low/Out	Toner Low/Out	トナー交換	ENABLE DISABLE	プリンタのトナーが少なくなった場合やトナーエラー時に、メールを送信するかどうか設定します。
Paper Low/Out	Paper Low/Out	用紙補充	ENABLE DISABLE	プリンタに用紙がなくなったときや少なくなったときに、メールを送信するかどうか設定します。
Paper Jam	Paper Jam	用紙ジャム	ENABLE DISABLE	プリンタに用紙がつまったときに、メールを送信するかどうか設定します。
Cover Open	Cover Open	カバーオープン	ENABLE DISABLE	プリンタのカバーが開いているときに、メールを送信するかどうか設定します。
Stacker Error	Stacker Error	スタッカエラー	ENABLE DISABLE	プリンタのスタッカに用紙がいっぱいになったときに、メールを送信するかどうか設定します。
Mass Storage Error	Mass Storage Error	ストレージエラー	ENABLE DISABLE	プリンタのハードディスクがディスクフルエラーになったときに、メールを送信するかどうか設定します。
Recoverable Error	Recoverable Error	復旧可能エラー	ENABLE DISABLE	プリンタがエラーになったとき（復旧可能）に、メールを送信するかどうか設定します。
Service Call Req.	Service Call Required	サービスコール要求	ENABLE DISABLE	プリンタにエラー（復旧不可能）が発生したときに、メールを送信するかどうか設定します。
Finisher Error	Finisher Error	フィニッシャーエラー	ENABLE DISABLE	フィニッシャーのエラーが発生したときにメールを送信するかどうか設定します。 (注) フィニッシャーが装着されていないときは選択できません。

*9)　Webブラウザでは「Email設定」項目に、Admin Managerでは「SMTP」タブに表示されます。

*10)　Setup Utilityでは設定できません。

Standard Setup（AdminManager）を使います

イーサネットボードの設定やプリンタのステータスの確認、NetWareキューの作成／削除ができます。

プリンタやイーサネットボードのバージョンにより、設定できる項目や表示される内容が異なります。

動作環境

WindowsXP/Me/98/95/2000/NT4.0 日本語版
TCP/IP か IPX/SPX で動作しているコンピュータ

- コンピュータはイーサネットボードと同一セグメント上に存在している必要があります。
- NetWareの設定をするときは、コンピュータにNovel Clientがインストールされていて、ネットワークの管理者の権限が必要です。

起動方法

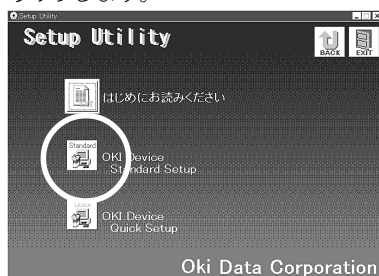
❶ プリンタの電源がONになっていることを確認します。

❷ イーサネットボード付属の「ネットワークソフトウェアCD-ROM」をセットします。

Setup Utilityが自動的に起動します。

自動的に起動しない場合は、CD-ROMの［Windows］フォルダの中の［Autorun.exe］をダブルクリックしてください。

❸［日本語］をクリックします。

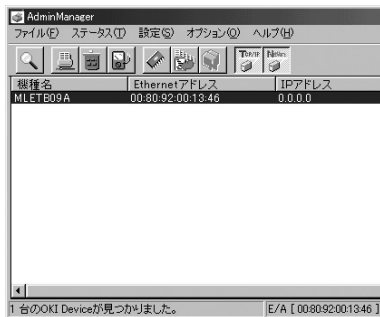
❹［OKI Device Standard Setup］をクリックします。

❺［インストールせずに、直接CD-ROMから起動する］を選択し、［次へ］をクリックします。

❻ 使用許諾契約に同意する場合は［はい］をクリックします。

AdminManagerが起動します。

OKI Device の設定

イーサネットボードの設定を行うことができます。
各項目の詳細については、「設定項目の一覧」（110 ページ）をご覧ください。

❶ 一覧より、イーサネットアドレスを参照して設定を行うイーサネットボードを選択します。

注
・イーサネットアドレスは自己診断テストに表示されています。
・初期設定では「DHCP/BOOTP protocol」が「ENABLE」になっています。ネットワーク上にDHCP/BOOTP サーバがある場合はサーバから取得したIP アドレスが表示されます。

❷ [設定]メニューの[OKI Deviceの設定]を選択します。

❸ 必要な項目を入力し、[設定] をクリックします。

❹ 設定に間違いがなければ、[OK] をクリックします。

注
ただしこの時点では、イーサネットボードは送信前の設定値で動作しています。

❺ 新しい設定値を有効にするため、[はい] をクリックします。

注
ここで [いいえ] を選択した場合、プリンタの電源をOFF/ONすれば設定値が反映されます。

❻ AdminManager を終了します。

Generalタブ

TCP/IPタブ

NetWareタブ

EtherTalkタブ

NetBEUIタブ

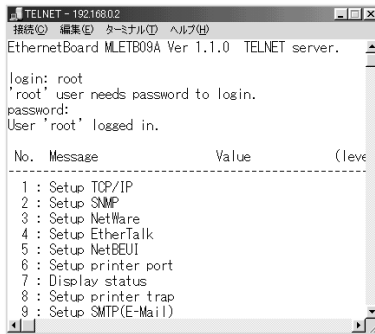
SNMPタブ

SMTPタブ

HTTPによる設定

Webブラウザを使用して、イーサネットボードやプリンタのステータスを表示することができます。[設定] メニューの [HTTPによる設定] を選択します。

TELNETによる設定

telnetを使用して、イーサネットボードやプリンタの設定をすることができます。
[設定] メニューの [TELNETによる設定] を選択します。

リセット

イーサネットボードをリセットすることができます。
[設定] メニューの [リセット] を選択します。

テスト印刷

自己診断テストをすることができます。
[設定] メニューの [テスト印刷] を選択します。

IPアドレス設定

IPアドレスを設定することができます。
[設定] メニューの [IPアドレス設定] を選択します。

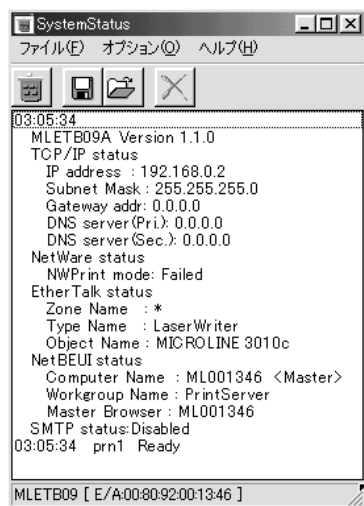
プリンタステータス

プリンタのステータスを表示できます。

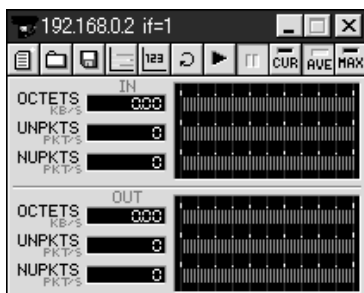
［ステータス］メニューの［プリンタステータス］を選択します。

システムステータス

イーサネットボードのステータスを表示できます。

［ステータス］メニューの［システムステータス］を選択します。

ネットメータ

ネットワークの利用状況をリアルタイムで表示できます。

［ステータス］メニューの［ネットメータ］を選択します。

ネットメータはフリーソフトウェアです。動作保証されません。

NetWare のキュー作成

NetWare サーバ上にプリントキューを作成することができます。

- コンピュータに、Novell Client がインストールされている必要があります。
- ネットワークの管理者の権限が必要です。
- NetWare5J/4.1J(NDS)リモートプリンタモードのプリントキューは、NDS モードで作成する必要があります。バインダリモードでは作成できません。

❶ 一覧より、イーサネットボードを選択し、[設定] メニューの [NetWare のキュー作成] を選択します。

❷ [次へ] をクリックします。

❸ ネットワーク環境にあわせて、[NDS モード] か [バインダリモード] を選択し、[次へ] をクリックします。

❹ 画面の指示に従い、NetWare キューを作成します。

❺ 設定内容に間違いがなければ、[実行] をクリックします。

NetWare サーバに設定内容が送信されます。

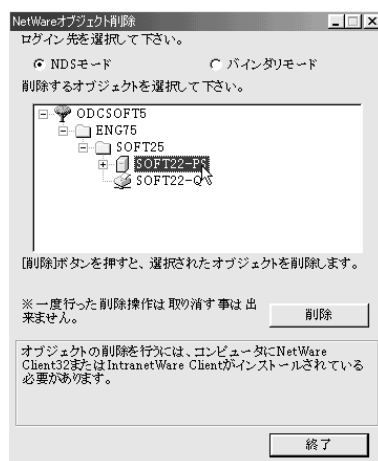
❻ [完了] をクリックします。

NetWareのオブジェクト削除

NetWareサーバ上に作成しているプリントサーバ、プリントキュー、プリンタを削除することができます。

注
- コンピュータに、Novell Clientがインストールされている必要があります。
- ネットワークの管理者の権限が必要です。

❶ 一覧より、イーサネットボードを選択し、[設定] メニューの [NetWareのオブジェクト削除] を選択します。

❷ [NDSモード] か [バインダリモード] を選択し、削除するオブジェクトを選択します。

❸ [削除] をクリックします。

注 [削除] は取り消すことができません。十分気をつけてオブジェクトを選んでください。

❹ [終了] をクリックします。

環境設定

AdminManager の環境を設定することができます。

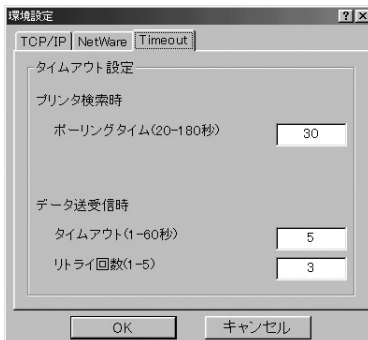
［オプション］メニューの［環境設定］を選択します。

TCP/IPタブ

TCP/IP でイーサネットボードの検索をするかどうか設定します。
ブロードキャストアドレスを設定します。

NetWareタブ

NetWare（IPX）プロトコルでイーサネットボードの検索をするかどうか設定します。
検索時に取得できたネットワークだけを検索します。
NetWareでイーサネットボードを検索するときのNetWareネットワーク番号を設定します。
NetWare ファイルサーバが多数ある場合は、イーサネットボードが存在するネットワーク番号を設定します。

Timeoutタブ

イーサネットボードからの応答待ち時間を秒単位で設定します。
AdminManagerとイーサネットボードの間のタイムアウト時間を秒単位で設定します。
AdminManagerとイーサネットボードの間のリトライ回数を設定します。

Quick Setup（Windows）を使います

イーサネットボードの簡易設定ができます。

プリンタやイーサネットボードのバージョンにより、設定できる項目や表示される内容が異なります。

動作環境

WindowsXP/Me/98/95/2000/NT4.0 日本語版
TCP/IP か IPX/SPX で動作しているコンピュータ

- コンピュータはイーサネットボードと同一セグメントに存在している必要があります。
- NetWare の設定をするときは、コンピュータに Novel Client がインストールされていて、ネットワークの管理者の権限が必要です。

起動と設定方法

❶ プリンタの電源が ON になっていることを確認します。

❷ イーサネットボード付属の「ネットワークソフトウェアCD-ROM」をセットします。

Setup Utility が自動的に起動します。

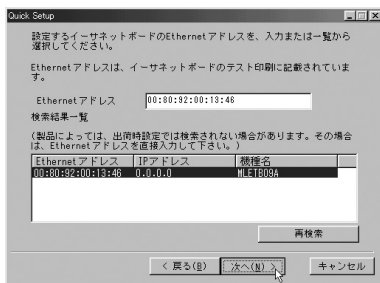
自動的に起動しない場合は、CD-ROM の［Windows］フォルダの中の［Autorun.exe］をダブルクリックしてください。

❸［日本語］をクリックします。

❹［OKI Device Quick Setup］をクリックします。

❺［次へ］をクリックします。

❻ 使用許諾契約に同意する場合は［はい］をクリックします。

❼ 設定を行うイーサネットボードのイーサネットアドレスを設定して、[次へ]をクリックします。

注 イーサネットアドレスは、自己診断テストに表示されています。

❽ TCP/IPの設定を行い、[次へ]をクリックします。

❾ NetWareの設定を行い、[次へ]をクリックします。

❿ EtherTalkの設定を行い、[次へ]をクリックします。

⓫ NetBEUIの設定を行い、[次へ]をクリックします。

⓬ 設定内容を確認し、[実行]をクリックします。

設定値がイーサネットボードに送信されます。

注 ただしこの時点では、イーサネットボードは送信前の設定値で動作しています。

⓭ 設定値を有効にするために、[完了]をクリックします。

Setup Utility (Macintosh ） を使います

イーサネットボードの設定ができます。

プリンタやイーサネットボードのバージョンにより､設定できる項目や表示される内容が異なります。

動作環境

MacOS8.1～9.2.1 日本語版
TCP/IP が動作している Macintosh

- Macintosh に TCP/IP の設定が必要です。[コントロールパネル] - [TCP/IP] 設定を行ってください。
- Mac OS X、Mac OS X Classic 環境には対応していません。

起動方法

すでにSetup Utilityがインストールされている場合は､必ず先に削除してください。

❶ プリンタの電源が ON になっていることを確認します。

❷ イーサネットボード付属の「ネットワークソフトウェアCD-ROM」をセットします。

❸ [Mac] - [Utility] フォルダの中の [Installer] をダブルクリックします。

❹ [Japanese] を選択し、[OK] をクリックします。

❺ インストール先のフォルダを確認し、[次へ] をクリックします。

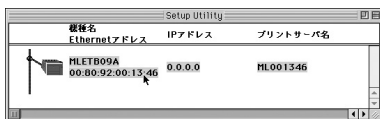
初期設定では、Macintosh HD の [Oki Tools]フォルダにインストールされます。

❻ [Setup Utilityを起動しますか？]で[はい] を選択し、[完了] をクリックします。

Setup Utility が起動します。

Oki Device 設定

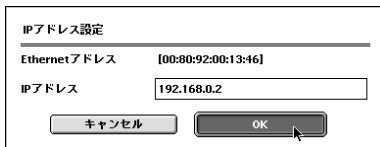
各項目の詳細については、「設定項目の一覧」（110 ページ）をご覧ください。

❶ 一覧より、Ethernet アドレスを参照して、設定を行うイーサネットボードを選択します。

注 イーサネットアドレスは、自己診断テストに表示されています。

❷［設定］メニューの［IP アドレス設定］を選択します。

IP アドレスが既に設定されているという画面が表示されたら？

☞ ❼へ進みます。

❸ IP アドレスを入力し、［OK］をクリックします。

❹［OK］をクリックし、プリンタの電源を OFF/ON します。

❺［ファイル］メニューの［Oki Device の検索］を選択します。

❻ 一覧より、イーサネットボードを選択します。

❼［設定］メニューの［Oki Deviceの設定］を選択します。

❽ 必要な項目を設定し、［設定］をクリックします。

❾ 設定に間違いがなければ、［OK］をクリックします。

設定値がイーサネットボードに送信されます。

注 ただしこの時点では、イーサネットボードは送信前の設定値で動作しています。

❿ 新しい設定値を有効にするため、［OK］をクリックします。

⓫ プリンタの電源を OFF/ON します。

⓬ Setup Utility を終了します。

General

EtherTalk

TCP/IP

NetBEUI

NetWare

SNMP

Webブラウザを使います

イーサネットボードの設定やプリンタのメニュー設定ができます。

プリンタやイーサネットボードのバージョンにより、設定できる項目や表示される内容が異なります。

動作環境

・Microsoft Internet Explorer Ver.3.0以上
・Netscape Navigator Ver.3.0以上

以下の環境を例にしています。

Webブラウザ	: Microsoft Internet Explorer Ver.5.0
IPアドレス	: 192.168.0.2
プリンタ	: MICROLINE 3010c
イーサネットアドレス	: 00:80:92:00:13:46

注

・イーサネットアドレスは自己診断テストに表示されています。
・イーサネットボードはTCP/IPで接続されている必要があります。

起動方法

❶ Webブラウザを起動します。

❷ [アドレス]にイーサネットボードのIPアドレスを入力し、Enterキーを押します。

プリンタステータス画面が表示されます。

注

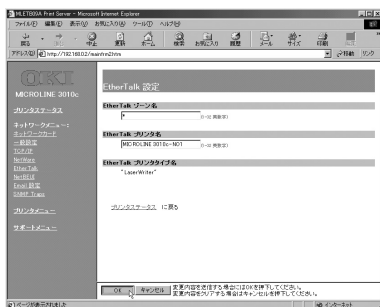
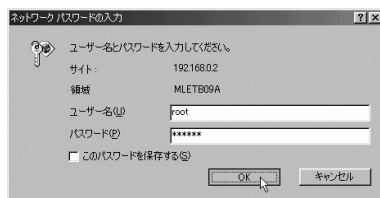
[プリンタステータス]画面の[ステータス更新]ボタンを有効にするにはWebブラウザでの次の設定が必要です。

Microsoft Internet Explorer5.0Jの場合は、[表示]メニューの[インターネットオプション]を選択し、[全般]タブ-[インターネット一時ファイル]-[設定]-[保存しているページの新しいバージョンの確認:]を[ページを表示するごとに確認する]に設定します。

Netscape Navigator4.04Jの場合は、[編集]メニューの[設定]を選択し、[詳細]-[キャッシュ]-[キャッシュしたドキュメントとネットワーク上のドキュメントとの比較]を[セッション毎]に設定します。
設定の変更直後にWebブラウザの大きさを変更すると、[セキュリティ情報]ダイアログが表示されることがあります。その場合は、ダイアログの中の[次回もこの警告を表示する]のチェックを外してください。

設定方法

❶ プリンタステータス画面の左のフレームの［ネットワークメニュー］をクリックし、変更する項目をクリックします。

❷ 必要な変更をした後、［OK］をクリックします。

❸ ［ユーザー名］に「root」、［パスワード］に「イーサネットアドレスの下6桁」を入力し、［OK］をクリックします。

注
- パスワードを入力すると、画面上では「******」と表示されます。
- パスワードに英文字が入っている場合、大文字/小文字を正しく入力してください。

新しい設定値がイーサネットボードに送信されると、次のような画面が表示されます。

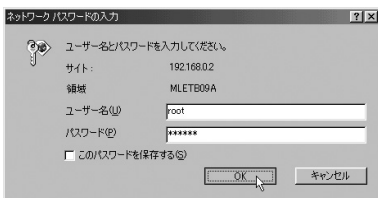
パスワードの設定

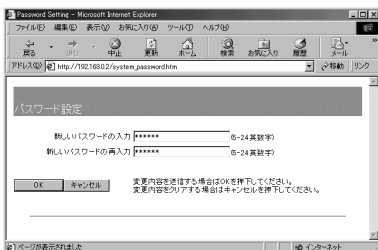
設定を変更するときに使用するパスワードを変更することができます。

注 パスワードの設定は、イーサネットボード MLETB09A の機能です。イーサネットボード MLETB09 は、初期値（イーサネットアドレスの下 6 桁）のままお使いください。

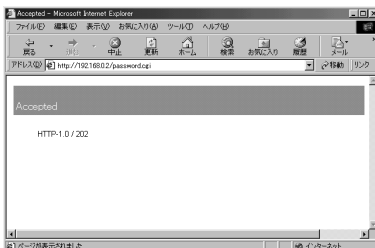
❶ Web ブラウザの［アドレス］に、パスワード設定用URL「http://プリンタのIP アドレス /system_password.htm」を入力します。

例 1）プリンタの IP アドレスが「192.168.0.2」の場合
http://192.168.0.2/system_ password.htm

❷［ユーザー名］に「root」、［パスワード］に現在のパスワードを入力し、［OK］をクリックします。

メモ パスワードの初期値は「イーサネットアドレスの下 6 桁」です。

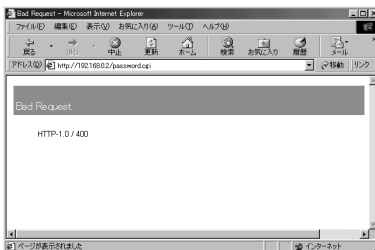
❸［新しいパスワードの入力］に新しいパスワードを入力し、［新しいパスワードの再入力］に再度新しいパスワードを入力します。

- パスワードを入力すると、画面上では「*****」と表示されます。
- パスワードは 5 ～ 24 桁までの英数字を入力してください。
- パスワードに英文字が入っている場合、大文字/小文字を正しく入力してください。

❹［OK］をクリックします。

新しいパスワードが設定されると、次のような画面が表示されます。

新しいパスワードは、次回の設定を変更するときから有効となります。プリンタの電源の OFF/ON は必要ありません。

注 このパスワードは Telnet、Admin Manager のパスワードとは異なります。

新しいパスワードの設定に失敗すると、次のような画面が表示されます。

再度パスワードの設定を行ってください。

ネットワークメニュー

イーサネットボードの設定ができます。
各項目の詳細については、「設定項目の一覧」（110 ページ）をご覧ください。

ネットワークステータス

一般ネットワーク設定

TCP/IP設定

NetWare設定

EtherTalk設定

NetBEUI設定

Email設定

SNMP Traps設定

プリンタメニュー

プリンタの設定ができます。
各項目の詳細については、各プリンタのユーザーズマニュアルをご覧ください。

- 印刷メニュー
- メディアメニュー
- カラーメニュー
- システム構成メニュー
- PCL エミュレーション
- セントロメニュー
- USB メニュー
- メモリメニュー
- Disk メンテナンス
- システム補正メニュー
- メンテナンスメニュー
- 寿命メニュー

サポートメニュー

注 イーサネットボードのバージョンにより、設定ができない場合があります。

標準リンクを５件、カスタムリンクを５件登録できます。

リンク編集メニューをクリックすると下記編集画面が表示されます。

注 URL は、Http:// も含めて入力してください。

Printer Information

プリンタのアセット番号（管理番号）を最大８文字まで入力できます。

注
- イーサネットボードのバージョンにより、設定ができない場合があります。
- プリンタのシリアル番号は常に空欄です。

telnet を使います

イーサネットボードの設定ができます。

プリンタやイーサネットボードのバージョンにより、設定できる項目や表示される内容が異なります。

設定方法

以下の環境を例にしています。

UNIX	: Sun Solaris 2.4
IP アドレス	: 192.168.0.2
イーサネットアドレス	: 00:80:92:00:13:46

注 イーサネットアドレスは自己診断テストに表示されています。

❶ ワークステーションにルートでログインします。

❷ arp コマンドでイーサネットボードに一時的な IP アドレスを設定します。

```
# arp -s 192.168.0.2
00:80:92:00:13:46 temp
```

❸ ping コマンドで接続を確認します。

```
# ping 192.168.0.2
```

❹ telnetでイーサネットボードにログインします。

注 ユーザ名は「root」、パスワードは「なし」（初期値）です。

```
telnet  192.168.0.2
Trying 192.168.0.2 ...
Connected to 192.168.0.2
Escape character is '^]'.
EthernetBoard MLETB09A Ver 1.1.0 TELNET
server.
login: root
'root' user needs password to login.
password:
User 'root' logged in.
No. Message    Value    (level.1)
-------------------------------------
 1 : Setup TCP/IP
 2 : Setup SNMP
 3 : Setup NetWare
 4 : Setup EtherTalk
 5 : Setup NetBEUI
 6 : Setup printer port
 7 : Display status
 8 : Setup printer trap
 9 : Setup SMTP(E-Mail)
97 : Reset to factory set
98 : Quit setup
99 : Exit setup
Please select(1-99)?
```

注 97：イーサネットボードを初期化します。
98：設定を変更せずに前画面に戻ります。
99：設定を変更して前画面に戻ります。

❺ 変更する項目の番号を入力し、「Enter キー」を押します。

❻ 各項目を設定します。

❼ イーサネットボードからログアウトします。

❽ 新しい設定を有効にするために、プリンタの電源を OFF/ON します。

プリンタの電源をOFF/ONしない場合、イーサネットボードは送信前の設定値で動作しています。必ず、プリンタの電源をOFF/ONしてください。

設定項目

TCP/IP設定画面

```
Please select(1-99)? _1

No.Message                    Value
---------------------------------------
  1:TCP/IP protocol     : ENABLE
  2:IP address          : 192.168.0.2
  3:Subnet mask         : 255.255.255.0
  4:Gateway address     : 0.0.0.0
  5:RARP protocol       : DISABLE
  6:DHCP/BOOTP protocol : DISABLE
  7:DNS server(Pri.)    : 0.0.0.0
  8:DNS server(Sec.)    : 0.0.0.0
  9:root password       : ""
99:Back to prior menu
Please select(1 - 99)? _
```

SNMP設定画面

```
Please select(1-99)? _2

No.Message                    Value
--------------------------------------
  1:Authentic community   :"*******"
  2:Trap community        :"public"
  3:Trap address          :0.0.0.0
  4:SysContact            :""
  5:SysName               :""
  6:SysLocation           :""
  7:DefaultTTL            :255
  8:EnableAuthenTrap      :2
 99:Back to prior menu
Please select(1 - 99)? _
```

NetWare設定画面

```
Please select(1-99)? _3

No.Message                    Value
--------------------------------------
   1:NetWare protocol      :ENABLE
   2:Packet type           :AUTO
   3:NetWare mode          :PSERVER
   4:Setup PSERVER mode
   5:Setup RPRINTER mode
  99:Back to prior menu
Please select(1 - 99)? _
```

```
Please select(1-99)? _4

No.Message                    Value
---------------------------------------
  1:FSERVER name 1          :""
  2:FSERVER name 2          :""
  3:FSERVER name 3          :""
  4:FSERVER name 4          :""
  5:FSERVER name 5          :""
  6:FSERVER name 6          :""
  7:FSERVER name 7          :""
  8:FSERVER name 8          :""
  9:Machine name            :"ML001346"
 10:Password                :""
 11:Job polling interval    :4
 12:Bindery mode            :ENABLE
 13:NDS tree                :""
 14:NDS context             :""
 99:Back to prior menu
Please select(1 - 99)? _
```

```
Please select(1-99)? _5

No.Message                    Value
---------------------------------------
  1:PSERVER name 1            :""
  2:PSERVER name 2            :""
  3:PSERVER name 3            :""
  4:PSERVER name 4            :""
  5:PSERVER name 5            :""
  6:PSERVER name 6            :""
  7:PSERVER name 7            :""
  8:PSERVER name 8            :""
  9:Job timeout               :10
 99:Back to prior menu
Please select(1 - 99)? _
```

EtherTalk設定画面

```
Please select(1-99)? _4

No.Message                    Value
--------------------------------------
  1:EtherTalk protocol      :ENABLE
  2:Zone Name               :"*"
 99:Back to prior menu
Please select(1 - 99)? _
```

NetBEUI設定画面

```
Please select(1-99)? _5

No.Message                     Value
----------------------------------------
  1 : NetBEUI protocol  : ENABLE
  2 : Computer name     : "ML001346"
  3 : Workgroup name    : "PrintServer"
  4 : Comment           : "EthernetBoard MLETB09A"
 99 : Back to prior menu
Please select(1 - 99)? _
```

printer port設定画面

```
Please select(1-99)? _6

No.Message                     Value
----------------------------------------
  1 : NetWare port name   : "ML001346-prn1"
  2 : EtherTalk port name : "MICROLINE 3010c"
  3 : BOJ string          : ""
  4 : EOJ string          : ""
  5 : BOJ string(KANJI)   : ""
  6 : EOJ string(KANJI)   : "¥x04"
  7 : Printer type        : PS
  8 : TAB size   (char.)  : 8
  9 : Page width (char.)  : 78
 10 : Page length(line)   : 66
 11 : lpr/ftp banner      : NO
 99 : Back to prior menu
Please select(1 - 99)? _
```

printer trap設定画面

```
Please select(1-99)? _8

No.Message                     Value
----------------------------------------
  1 : Prn-Trap community     : "public"
  2 : Setup TCP#1 trap
  3 : Setup TCP#2 trap
  4 : Setup TCP#3 trap
  5 : Setup TCP#4 trap
  6 : Setup TCP#5 trap
  7 : Setup IPX trap
 99 : Back to prior menu
Please select(1 - 99)? _
```

```
Please select(1-99)? _2

No.Message                     Value
----------------------------------------
  1 : TCP#1 Trap enable    : DISABLE
  2 : On-line trap         : DISABLE
  3 : Off- line trap       : DISABLE
  4 : Paper Out trap       : DISABLE
  5 : Paper Jam trap       : DISABLE
  6 : Cover Open trap      : DISABLE
  7 : Printer Error trap   : DISABLE
  8 : TCP#1 Trap address   : 0.0.0.0
 99 : Back to prior menu
Please select(1 - 99)? _
```

```
Please select(1-99)? _7

No.Message                     Value
----------------------------------------
  1 : IPX Trap enable      : DISABLE
  2 : On-line trap         : DISABLE
  3 : Off- line trap       : DISABLE
  4 : Paper Out trap       : DISABLE
  5 : Paper Jam trap       : DISABLE
  6 : Cover Open trap      : DISABLE
  7 : Printer Error trap   : DISABLE
  8 : IPX Trap address     : "000000000000"
  9 : IPX Trap net         : "00000000"
 99 : Back to prior menu
Please select(1 - 99)? _
```

SMTP(E-Mail)設定画面

```
Please select(1-99)? _9

No.Message                     Value
----------------------------------------
  1 : SMTP Transmit          : "DISABLE"
  2 : SMTP server name       : ""
  3 : SMTP port number       : 25
  4 : E-mail address         : ""
  5 : Reply-To address       : ""
  6 : Event to address 1
  7 : Event to address 2
  8 : Event to address 3
  9 : Event to address 4
 10 : Event to address 5
 11 : Signature line 1       : ""
 12 : Signature line 2       : ""
 13 : Signature line 3       : ""
 14 : Signature line 4       : ""
 99 : Back to prior menu
Please select(1 - 99)? _
```

```
Please select(1-99)? _5

No.Message                     Value
----------------------------------------
  1 : To Address 1           : ""
  2 : Re-send Interval       : DISABLE
  3 : Off Line               : DISABLE
  4 : Consumable Message     : DISABLE
  5 : Toner Low/Out          : DISABLE
  6 : Paper Low/Out          : DISABLE
  7 : Paper Jam              : DISABLE
  8 : Cover Open             : DISABLE
  9 : Stacker Error          : DISABLE
 10 : Mass Storage Error     : DISABLE
 11 : Recoverable Error      : DISABLE
 12 : Service Call Req.      : DISABLE
 99 : Back to prior menu
Please select(1 - 99)? _
```

OKI LPRユーティリティ（Windows）を利用します

LPR 印刷、印刷ジョブの管理、プリンタのステータス確認ができます。

動作環境

WindowsXP/Me/98/95/2000/NT4.0 日本語版
TCP/IP で動作しているコンピュータ

セットアップします

以下の説明は、Windows98 を例にしています。

❶ 一旦、「通常使うローカルプリンタ（LPT1:)」としてプリンタドライバをセットアップします。

プリンタドライバのセットアップ方法は、プリンタのユーザーズマニュアルをご覧ください。

❷ イーサネットボード付属の「ネットワークソフトウェアCD-ROM」をセットします。

Setup Utility が自動的に起動します。

❸ ［Exit］をクリックして終了します。

❹ ［スタート］-［ファイル名を指定して実行］を選択します。

❺ ［名前］に次のように入力し、［OK］をクリックします。

D:\OKILPR\SETUP
CD-ROM ドライブが D:の場合

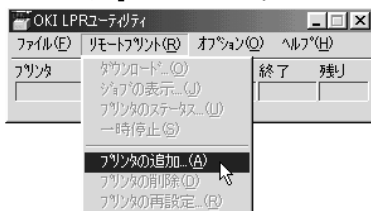
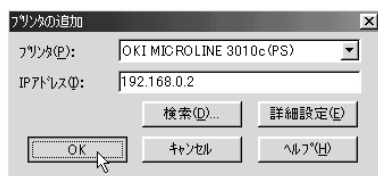
❻ セットアッププログラムが開始されるので、［次へ］をクリックします。

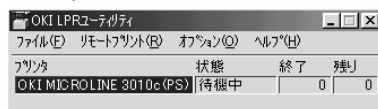
❼ インストール先とスプール先のフォルダを確認し、［次へ］をクリックします。

❽［スタートアップに登録する］にチェックが入っていることを確認し、［次へ］をクリックします。

❾プログラムフォルダ名を確認し、［次へ］をクリックします。

❿［完了］をクリックすると、OKI LPRユーティリティが起動します。

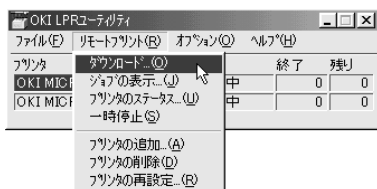
⓫［リモートプリント］メニューの［プリンタの追加］を選択します。

⓬［プリンタ］を選択し、［IPアドレス］にイーサネットボードのIPアドレスを入力し、［OK］をクリックします。

メモ **［検索］をクリックしてネットワーク上のプリンタを検索することもできます。**

メインウィンドウにプリンタが追加されます。

OKI LPRユーティリティを起動させたまま、アプリケーションから印刷します。

ファイルのダウンロード

ファイルをプリンタにダウンロードすることができます。

❶ プリンタを選択します。

❷ ［リモートプリント］メニューの［ダウンロード］を選択します。

❸ ダウンロードするファイルを選択し、［開く］をクリックします。

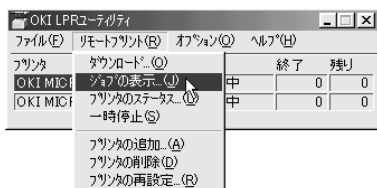
ファイルのダウンロードが開始されます。

ジョブの表示、削除と手動転送

印刷ジョブを表示したり、削除することができます。
また、プリンタが使用中やオフライン、用紙切れ等で印刷ができない場合、印刷ジョブを他のプリンタへ転送することができます。

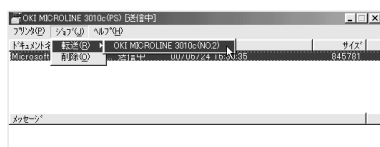
・他社プリンタへは転送できません。
・同じプリンタ機種名へ転送してください。

❶ プリンタを選択します。

❷ ［リモートプリント］メニューの［ジョブの表示］を選択します。

ジョブが表示されます。

❸ 削除したい印刷ジョブを選択し、［ジョブ］メニューの［削除］を選択します。

ジョブが削除されます。

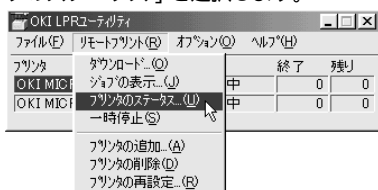
❹ 転送したい印刷ジョブを選択し、［ジョブ］メニューの［転送］で転送先のプリンタを選択します。

転送先のプリンタにジョブが送られます。

転送できるプリンタは、あらかじめOKI LPRユーティリティにセットアップされている必要があります。

プリンタのステータス

プリンタのステータスを表示させることができます。

❶ プリンタを選択します。

❷ ［リモートプリント］メニューの［プリンタのステータス］を選択します。

プリンタのステータスが表示されます。

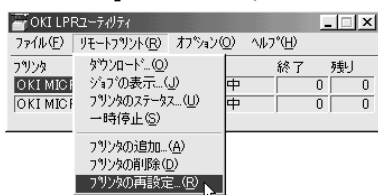
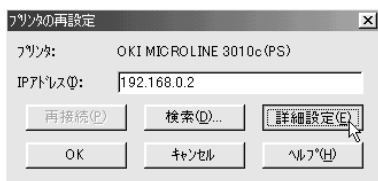
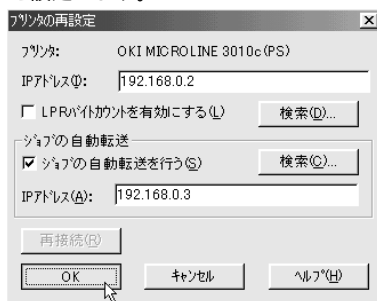
ジョブの自動転送

プリンタが使用中やオフライン、用紙切れ等で印刷ができない場合、自動的に印刷ジョブを他のプリンタへ転送することができます。

注

- **他社プリンタへは転送できません。**
- **必ず、同じプリンタ機種名へ転送してください。**

❶ プリンタを選択します。

❷ ［リモートプリント］メニューの［プリンタの再設定］を選択します。

❸ ［詳細設定］ボタンをクリックします。

❹ ［ジョブの自動転送を行う］にチェックをつけ、転送先プリンタのIPアドレスを設定します。

メモ **［検索］をクリックして、ネットワーク上のMICROLINEプリンタを検索することもできます。**

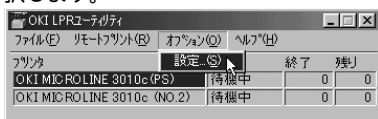
❺ ［OK］をクリックします。

自動的にIPアドレス再設定

DHCPサーバに接続しプリンタの電源を入れる度にプリンタのIPアドレスが変更になる場合、自動的に変更されたIPアドレスを検索し再設定することができます。

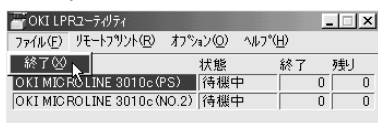
- **検索対象は、OKILPRUtilityの検索範囲に従います。**
- **OKILPRUtilityVer.3.06以降が必要です。**

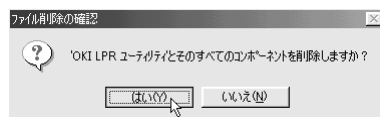
❶ プリンタを選択します。

❷ ［オプション］メニューの［設定］を選択します。

❸ ［自動的にIPアドレスを再設定する］にチェックをつけます。

❹ ［OK］をクリックします。

OKI LPRユーティリティの削除

❶ ［ファイル］メニューの［終了］を選択します。

❷ ［スタート］-［プログラム］-［沖データ］-［OKI LPRユーティリティ］-［ユーティリティの削除］を選択します。

❸ ［はい］をクリックします。

削除が開始されます。

DHCP/BOOTP を使います

DHCP サーバまたは BOOTP サーバから IP アドレスを取得できます。

- **DHCP サーバ、BOOTP サーバを設定するには、スーパーユーザの権限が必要です。**
- **IPアドレスの入力を間違えると、ネットワークがダウンするなどの重大な障害が発生する恐れがあります。ネットワーク管理者と十分相談の上、設定してください。**

DHCP サーバの設定

DHCP とは、TCP/IP ネットワーク上の各ホストに動的に IP アドレスを割り当てるためのプロトコルです。IP アドレスの他にサブネットマスクを設定することもできます。

イーサネットボードには、固定のIP アドレスが割り当てられるように DHCP サーバを設定してください。ランダムにIP アドレスを割り当てると、ネットワーク経由で印刷ができません。固定のIP アドレスを割り当てる方法については、各 DHCP サーバのマニュアルをご覧ください。

動作確認環境

WindowsNT Server4.0 日本語版 DHCP サーバ
WindowsNT Server4.0 日本語版 DHCP リレーエージェント
Sun OS 4.1.3+WIDE 版 DHCP バージョン 1.3.6

以下の説明は、WindowsNT Server4.0 日本語版 DHCP サーバを例にしています。

❶ ［スタート］-［設定］-［コントロールパネル］を選択します。

❷ ［ネットワーク］をダブルクリックし、［サービス］タブを開きます。

［ネットワークサービス］に［Microsoft DHCP サーバー］が表示されている場合は？

☞ ❻へ進みます。

❸ ［追加］をクリックします。

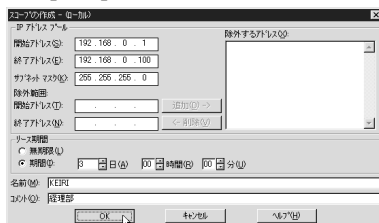
❹ ［Microsoft DHCPサーバー］を選択し、［OK］をクリックします。

❺ Windows を再起動します。

---

❻ ［スタート］-［プログラム］-［管理ツール（共通）］-［DHCP マネージャ］を選択します。

❼ ［DHCPサーバー］一覧からスコープを作成するサーバをクリックします。

❽ ［スコープ］メニューの［作成］を選択し、［IP アドレス　プール］の設定を行い、［OK］をクリックします。

❾ ［スコープ］メニューの［予約の追加］を選択し、各項目を入力し、［追加］をクリックします。

① IP アドレスを入力します。

② ［一意の ID］に、イーサネットボードのイーサネットアドレスを入力します。

③ ［クライアント名］、［クライアントコメント］に任意の名前を入力します。

注
- **必ず［予約の追加］で IP アドレスを割り当ててください。**
- **イーサネットアドレスは自己診断テストに表示されています。**

❿ ［閉じる］をクリックします。

⓫ ［スコープ］メニューの［アクティブ化］を選択し、作成したスコープをアクティブにします。

⓬ ［DHCP マネージャ］を終了します。

BOOTP サーバの設定

BOOTP とは、TCP/IP ネットワーク上の各ホストに、BOOTP サーバに登録した IP アドレスを割り付けるプロトコルです。

以下の環境を例にしています。

ワークステーション	: HP-UX 9.x の BOOTP サーバ
IP アドレス	: 192.168.0.2
イーサネットアドレス	: 00:80:92:00:13:46
ホスト名	: ML3010C

注 **イーサネットアドレスは、自己診断テストに表示されています。**

❶ /etc/hosts ファイルに、イーサネットボードの IP アドレスとホスト名を登録します。

```
192.168.0.2 ML3010C
```

❷ /etc/bootptab ファイルに次の設定を追加します。

```
ML3010C:\
```
/etc/hosts に登録したホスト名

```
ht=ether:\
```
ハードウェアタイプを［ether］にします。

```
ha=008092001346:\
```
イーサネットアドレス

```
ip=192.168.0.2:\
```
IP アドレス

```
sm=255.255.255.0:\
```
サブネットマスク

```
gw=0.0.0.0:\
```
ゲートウェイ

❸ /etc/inetd.conf ファイルに次の設定を追加します。

```
bootps dgram udp wait root /
etc/ bootpd bootpd
```

❹ inetd を再起動します。

```
# kill -1 1
```

❺ プリンタの電源を ON にします。

イーサネットボードの設定

以下の説明は、Standard Setup（AdminManager）を例にしています。

イーサネットボードの初期設定では、「DHCP/BOOTP protocol」が「ENABLE」に設定されています。イーサネットボードを初期設定でお使いの場合は、設定の必要はありません。

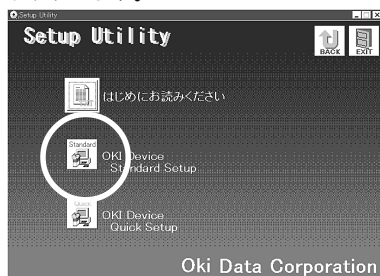
❶ プリンタの電源が ON になっていることを確認します。

❷ イーサネットボード付属の「ネットワークソフトウェア CD-ROM」をセットします。

Setup Utility が自動的に起動します。

自動的に起動しない場合は、CD-ROM の［Windows］フォルダの中の［Autorun.exe］をダブルクリックしてください。

❸［日本語］をクリックします。

❹［OKI Device Standard Setup］をクリックします。

❺［インストールせずに、直接CD-ROMから起動する］を選択し、［次へ］をクリックします。

❻ 使用許諾契約に同意する場合は［はい］をクリックします。

AdminManager が起動します。

❼ 一覧よりイーサネットアドレスを参照して、設定を行うイーサネットボードを選択します。

イーサネットアドレスは、自己診断テストに表示されています。

❽［設定］メニューの［OKI Deviceの設定］を選びます。

❾［TCP/IP］タブの［DHCP/BOOTP を使用する］をチェックし、［設定］をクリックします。

❿ 設定に間違いがなければ、［OK］をクリックします。

設定値がイーサネットボードに送信されます。

注 **ただしこの時点では、イーサネットボードは送信前の設定値で動作しています。**

⓫ 設定値を有効にするため、［はい］をクリックします。

注 **ここで［いいえ］を選択した場合、プリンタの電源をOFF/ONすれば設定値が反映されます。**

RARP を使います

RARP サーバから IP アドレスを取得できます。

- **RARP サーバを設定するには、スーパーユーザの権限が必要です。**
- **IPアドレスの入力を間違えると、ネットワークがダウンするなどの重大な障害が発生する恐れがあります。ネットワーク管理者と十分相談の上、設定してください。**

RARP サーバの設定

RARP とは、TCP/IP ネットワーク上の各ホストに、RARP サーバに登録した IP アドレスを割り当てるプロトコルです。プリンタの電源を ON にすることで IP アドレスを取得することができます。

以下の環境を例にしています。

ワークステーション	：SunOS4.1.x
IP アドレス	：192.168.0.2
イーサネットアドレス	：00:80:92:00:13:46
ホスト名	：ML3010C

注 **イーサネットアドレスは、自己診断テストに表示されています。**

❶ /etc/hosts ファイルに、イーサネットボードの IP アドレスとホスト名を登録します。

```
192.168.0.2 ML3010C
```

❷ /etc/ethersファイルにイーサネットアドレスとホスト名の組み合わせを追加します。ホスト名は、/etc/hosts ファイルに登録したホスト名と同じにします。

```
00:80:92:00:13:46 ML3010C
```

❸ RARPD を起動します。

```
#rarpd -a
```

- **rarpd の起動方法については、UNIXのマニュアルをご覧ください。**
- **rarpd は UNIX を起動するたびに必要になりますので、/etc/rcなどのファイルから起動するようにしておくと便利です。**

❹ プリンタの電源を ON にします。

イーサネットボードの設定

telnetで設定します。

以下の環境を例にしています。

ワークステーション	：Sun Solaris2.4
IPアドレス	：192.168.0.2
イーサネットアドレス	：00:80:92:00:13:46

注

- **イーサネットボードの初期設定では「RARP protocol」が「DISABLE」に設定されています。**
- **イーサネットアドレスは、自己診断テストに表示されています。**

❶ arpコマンドを使って、イーサネットボードに一時的なIPアドレスを設定します。

```
# arp - s 192.168.0.2
00:80:92:00:13:46 temp
```

❷ pingコマンドを使って、イーサネットボードとの接続を確認します。

```
# ping 192.168.0.2
```

注 **応答がない場合は、IPアドレスの設定、またはネットワークの状態に問題があります。ネットワーク管理者にご相談ください。**

❸ telnetでイーサネットボードにログインします。

詳細は、「telnetを使います」（137ページ）をご覧ください。

❹ TCP/IP設定画面で［RARP protocol］を［ENABLE］にします。

❺ イーサネットボードからログアウトします。

❻ 設定値を有効にするため、プリンタの電源をOFF/ONします。

注 **プリンタの電源をOFF/ONするまでは、イーサネットボードは送信前の設定値で動作しています。必ず、プリンタの電源をONしてください。**

メール送信機能（SMTP）を使います

メール送信機能（SMTP）を実装しています。プリンタにエラーが発生した場合、メールを送信することができます。
Standard Setup（AdminManager）、Webブラウザ、telnetで設定ができます。

注 プリンタやイーサネットボードのバージョンにより、設定できる項目や表示される内容が異なります。

以下の説明はStandard Setup（AdminManager）を例にしています。

❶ プリンタの電源がONになっていることを確認します。

❷ イーサネットボード付属の「ネットワークソフトウェアCD-ROM」をセットします。

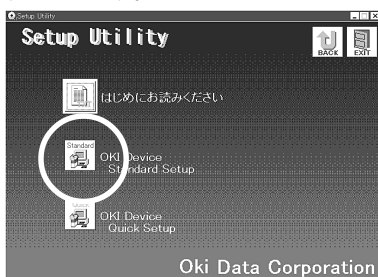
Setup Utilityが自動的に起動します。

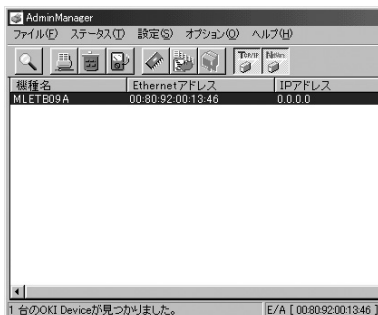
注 自動的に起動しない場合は、CD-ROMの［Windows］フォルダの中の［Autorun.exe］をダブルクリックしてください。

❸ ［日本語］をクリックします。

❹ ［OKI Device Standard Setup］をクリックします。

❺ ［インストールせずに、直接CD-ROMから起動する］を選択し、［次へ］をクリックします。

❻ 使用許諾契約に同意する場合は［はい］をクリックします。

AdminManagerが起動します。

❼ 一覧よりイーサネットアドレスを参照して、設定を行うイーサネットボードを選択します。

注 イーサネットアドレスは、自己診断テストに表示されています。

❽ ［設定］メニューの［OKI Deviceの設定］を選択します。

❾ ［SMTP］タブを選択し、各項目を設定します。

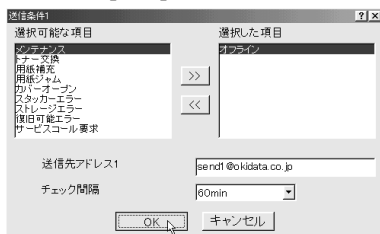
① 「SMTP 送信プロトコルを使用する」にチェックを付けます。

② SMTP サーバアドレス / サーバ名を入力します。

③ 返信用アドレスを入力します。

④ E-Mail アドレスを入力します。

注
- **「SMTP サーバアドレス / サーバ名」にドメイン名を入力する場合は、[TCP/IP]タブの[DNSサーバ］を設定してください。**
- **E-Mailアドレスは、イーサネットボードのバージョンにより、設定できない場合があります。**

❿ ［送信条件 1-5］をクリックし、各項目を設定し、［OK］をクリックします。

① メールを送信する条件を設定します。

② 送信先アドレスを入力します。

③ チェック間隔を設定します。

⓫ ［詳細設定］をクリックし、各項目を設定し、［OK］をクリックします。

① SMTPのポート番号を設定します。通常は 25（初期設定）でご使用ください。

② メールの文末に付加する署名（コメント）を入力します。

⓬ ［設定］をクリックします。

⓭ 設定に間違いがなければ、［OK］をクリックします。

設定値がイーサネットボードに送信されます。

ただしこの時点では、イーサネットボードは送信前の設定値で動作しています。

⓮ 設定値を有効にするため、［はい］をクリックします。

ここで［いいえ］を選択した場合、プリンタの電源をOFF/ONすれば設定値が反映されます。

SNMP を使います

イーサネットボードは、SNMP エージェントを実装しています。SNMP マネージャでプリンタを管理することができます。
設定値を変更するには、telnet、Web ブラウザ、AdminManager（Windows）を使用します。各項目の詳細については「設定項目の一覧」（110 ページ）をご覧ください。
MIB-II 及び沖データプライベート MIB に対応しています。沖データプライベート MIB については、イーサネットボード付属の「プリンタソフトウェア CD-ROM」の［ Mib ］フォルダの中の「 Readme-j.txt 」を参考にしてください。

10 困ったときには

ネットワーク経由で印刷できない

ネットワーク接続

- ストレートケーブルでハブに接続します。
- コネクタがゆるんでいないか、コネクタのピンが曲がっていないか確認します。予備のケーブルがあれば交換してみます。
- スイッチングハブを使用している場合は、スイッチングハブの動作モード（100BASE-TX/10BASE-T、全二重/半二重）を「自動切替」から「手動」にしてみます。
- ケーブルを接続してからプリンタの電源をONにします。ケーブルを接続しないで先にプリンタの電源をONにするとネットワークで確認できないことがあります。
- ケーブルの接続経路が間違っている可能性があります。プリンタを他のハブやネットワークに接続したり、ネットワークから切り離して、コンピュータとプリンタをクロスケーブルで1対1で接続してみてください。

プリンタ

- プリンタの電源がONになっていることを確認します。
- プリンタの電源をOFF/ONします。それでも復旧しない場合はプリンタ設定を初期化します。
- プリンタの操作パネルに「300 Network Error」が表示されている場合は、イーサネットボードの各プロトコルの設定が全てDisable（使用しない）になっていないか確認します。
  全てDisableになっている場合は、使用するプロトコルをEnable（使用する）にするか、イーサネットボードを初期化（プッシュスイッチを押したままプリンタの電源をオフにし、3秒間以上押し続けてから指を離します）してください。

イーサネットボード

- LINK 100M ランプ（緑）/LINK 10M ランプ（緑）を確認します。100BASE-TX/10BASE-T で接続している場合にそれぞれ点灯します。
- STATUSランプ（橙）を確認します。データを受信しているときに点滅します。「一定間隔（1秒あるいは0.1秒）で点滅」「常に点灯」「常に消灯」している場合はイーサネットボードが正常に動作していない状態です。
- イーサネットボードの自己診断テスト（プッシュスイッチを3秒間以上押してから指を離します）を行い、下記項目を確認します。
  ［ROM Check］,［RAM Check］,［NIC Check］,［EEPROM Check］が全て［OK］になっていること。
  ［DIPSW1］,［DIPSW2］,［DIPSW3］,［DIPSW4］が全て［OFF］になっていること。
  TCP/IP プロトコルを使用している場合は、［TCP/IP Protocol］が「ENABLE」、［DHCP/BOOTP protocol］と［RARP protocol］が「DISABLE」になっていること。また、［IP address］,［Subnet mask］,［Gateway address］が正しいこと。［IP address］だけでは正しく動作しません。通常、［Subnet mask］,［Gateway address］は Windows の設定と同じ値です。
  NetBEUI プロトコルプロトコルを利用する場合は、［NetBEUI protocol］が「ENABLE」になっていること。
  EtherTalk プロトコルを利用する場合は、［EtherTalk］が「ENABLE」になっていて、［Zone name］が正しいこと。
  NetWare プロトコルを利用する場合は、［NetWare protocol］が「ENABLE」になっていること。
- イーサネットボードを初期化（プッシュスイッチを押したままプリンタの電源をオンにし、3 秒間以上押し続けてから指を離します）してから、再セットアップします。特にプリンタを他のネットワークから移動した時は必ず初期化してください。

WindowsMe/98/95

LPR（TCP/IP）プロトコルを利用する場合

- ［スタート］-［設定］-［コントロールパネル］-［ネットワーク］-［ネットワークの設定タブ］-［現在のネットワークコンポーネント］で、［TCP/IP → ***］（*** はアダプタ名）が表示されていることを確認します。
- ［TCP/IP → ***］（*** はアダプタ名）の［プロパティ］で、［IP アドレス］,［サブネットマスク］,［ゲートウェイ］が正しいか確認します。
- ［スタート］-［設定］-［プリンタ］-［使用しているプリンタ］の［プロパティ］を選択し、［詳細タブ］-［スプールの設定］で［このプリンタの双方向通信をサポートしない］にチェックが付いていることを確認します。
- 「OKI LPRユーティリティ」画面で、［使用しているプリンタ］を選択してから［リモートプリントメニュー］-［プリンタの再設定］を選択し、［IP アドレス］がプリンタの IP アドレスと一致しているか確認します。
  OKI LPR ユーティリティの最新版は沖データホームページ（http://www.okidata.co.jp）で入手できます。バージョンが古い場合は、一旦“ OKI LPRユーティリティを削除 ” してから最新版をインストールしてみてください。
- 小規模ネットワークの場合、次のように設定してみてください。
  ［IP アドレス］　Windows　192.168.0.1
  　　　　　　　イーサネットボード　192.168.0.2
  ［サブネットマスク］　Windows　255.255.255.0
  　　　　　　　イーサネットボード　255.255.255.0
  ［ゲートウェイ］　Windows　使用しません
  　　　　　　　イーサネットボード　0.0.0.0

NetBEUIプロトコルを利用する場合

- ［スタート］-［設定］-［コントロールパネル］-［ネットワーク］-［ネットワークの設定タブ］-［現在のネットワークコンポーネント］で［NetBEUI → ***］（*** はアダプタ名）が表示されていることを確認します。

WindowsXP/2000

LPR（TCP/IP）プロトコルを利用する場合

- ［スタート］-［設定］-［ネットワークとダイアルアップ接続］-［ローカルエリア接続］をダブルクリックし、［プロパティ］に［インターネットプロトコル（TCP/IP)］が表示されていることを確認します。
- ［インターネットプロトコル（TCP/IP)］の［プロパティ］をクリックし、[IP アドレス]，[サブネットマスク]，[デフォルトゲートウェイ］が正しいことを確認します。
- セットアップ時にIPアドレスでプリンタを指定した場合は､各オクテットの先頭を「0」にしないでください。例えば、「192.169.1.2」のように設定してください。「192.169.001.002」のように設定すると正しく印刷することができません。これは WindowsXP/2000 の仕様によるものです。

IPP（TCP/IP）プロトコルを利用する場合

- ［スタート］-［設定］-［ネットワークとダイアルアップ接続］-［ローカルエリア接続］をダブルクリックし、［プロパティ］に［インターネットプロトコル（TCP/IP)］が表示されていることを確認します。
- ［インターネットプロトコル（TCP/IP)］の［プロパティ］をクリックし、[IP アドレス]，[サブネットマスク]，[デフォルトゲートウェイ］が正しいことを確認します。
- セットアップするプリンタの IP アドレスや URL が正しいか確認します。
- セットアップ時にIPアドレスでプリンタを指定した場合は､各オクテットの先頭を「0」にしないでください。例えば、「192.169.1.2」のように設定してください。「192.169.001.002」のように設定すると正しく印刷することができません。これは WindowsXP/2000 の仕様によるものです。

NetBEUIプロトコルを利用する場合

- ［スタート］-［設定］-［ネットワークとダイアルアップ接続］-［ローカルエリア接続］をダブルクリックし、［プロパティ］に［NetBEUI プロトコル］が表示されていることを確認します。
- WindowsXP は、OS がサポートされていないので NetBEUI プロトコルは利用できません。

WindowsNT4.0

LPR（TCP/IP）プロトコルを利用する場合

- ［スタート］-［設定］-［コントロールパネル］-［ネットワーク］をダブルクリックし、［プロトコルタブ］の［ネットワークプロトコル］で［TCP/IP プロトコル］が表示されていることを確認します。
- ［TCP/IP プロトコル］の［プロパティ］で、[IP アドレス］,［サブネットマスク］,［デフォルトゲートウェイ］が正しいことを確認します。
- ［スタート］-［設定］-［コントロールパネル］-［ネットワーク］をダブルクリックし、［サービスタブ］の［ネットワークサービス］で［Microsoft TCP/IP 印刷］が表示されていることを確認します。
- ［スタート］-［設定］-［プリンタ］-［使用しているプリンタ］の［プロパティ］を選択し、[ポートタブ] - [印刷するポート] で「xxx.xxx.xxx.xxx:lp」(「xxx.xxx.xxx.xxx: はプリンタの IP アドレス）と表示されていることを確認します。「lp」以外のプリントキュー名は無効です。

NetBEUIプロトコルを利用する場合

- ［スタート］-［設定］-［コントロールパネル］-［ネットワーク］をダブルクリックし、［プロトコルタブ］の［ネットワークプロトコル］で［NetBEUI プロトコル］が表示されていることを確認します。

Macintosh

- [アップルメニュー]-[コントロールパネル]-[AppleTalk]で[経由先]が[Ethernet]になっていることを確認します。
- ［アップルメニュー］-［セレクタ］で、「AdobePS」をクリックしたとき「プリンタ名」が表示されるか確認します。プリンタ名の初期値は「MICROLINE 製品名」です。プリンタ名は自己診断テストに表示されている [Ethernet port name] です。

UNIX

- 「etc/hostsファイル」にプリンタの［IPアドレス］と［ホスト名］が登録されているか確認します。
- lpプロトコルを利用する場合は、「etc/printcapファイル」にリモートプリンタの論理プリンタ名（例：rp=lp）が登録されているか確認します。論理プリンタ名には「lp」「sjis」「euc」があり、「lp」は無変換出力設定用、「sjis」はシフトJIS PostScript漢字変換出力用、「euc」はEUC PostScript漢字変換出力用です。それ以外は全て無効です。
- ftpプロトコルを利用する場合は、出力先（イーサネットボードの論理ディレクトリ名）が指定されているか確認します。出力先には「lp」「sjis」「euc」があり、「lp」は無変換出力設定用、「sjis」はシフトJIS PostScript漢字変換出力用、「euc」はEUC PostScript漢字変換出力用です。それ以外は全て無効です。

NetWare

プリントサーバモードを利用する場合

- ファイルサーバ上にプリントサーバが起動しているか確認します。
- 自己診断テストの「FSERVER name#」が、利用している「ファイルサーバ名」と同じか確認します。
- 自己診断テストの「NetWare port name」が、ファイルサーバの「プリンタ名」と同じか確認します。
- 自己診断テストの「Machine name」がファイルサーバの「プリントサーバ名」と同じか確認します。
- イーサネットボードが複数存在する場合はイーサネットボード同士の「NetWare port name」が同じにならないようにします。

リモートプリンタモードを利用する場合

- ファイルサーバ上にプリントサーバが起動しているか確認します。
- 自己診断テストの「PSERVER name#」がファイルサーバ上の「プリントサーバ名」と同じか確認します。
- 自己診断テストの「NetWare port name」がファイルサーバのプリントサーバモニタに表示されている「プリンタ名」と一致しているか確認します。

ユーティリティ

- AdminManager（Windows）でイーサネットボードを検出できるか確認します。
- Setup Utility（Macintosh）でイーサネットボードを検出できるか確認します。
- Web ブラウザでイーサネットボードを検出できるか確認します。
- telnet でイーサネットボードを検出できるか確認します。
- ping でイーサネットボードを検出できるか確認します。Windows の MS-DOS プロンプトで「ping xxx.xxx.xxx.xxx」（xxx.xxx.xxx.xxx はプリンタの IP アドレス）と入力し、Enter キーを押します。

MLETB09
MLETB09A
イーサネットボード

ユーザーズマニュアル

発行日　2002年 5月　　第2版
発行者　株式会社 沖データ

40929509EE